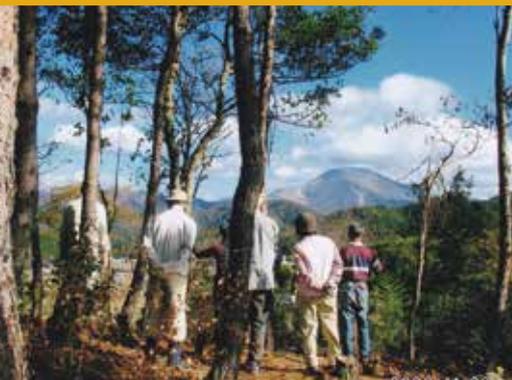


夏原グラント



活動報告書

2020 年度



琵琶湖およびその流域の自然環境の保全活動を応援します

主催 公益財団法人  **平和堂財団**

協賛 株式会社 **平和堂**

ごあいさつ

公益財団法人平和堂財団は、教育・文化・体育・環境・児童福祉の5分野で助成活動を行っています。琵琶湖を抱える滋賀県に生まれた法人として環境分野には重点的に取り組んでおり、その中でも環境保全活動助成事業「夏原グラント」は、環境保全活動に対する中心となる助成事業です。

2012年度から始まり2020年度で延432団体に助成を受けていただくことができました。これもひとえに夏原グラントの趣旨に賛同し、積極的なご応募をいただいた団体の皆さんのおかげです。

2020年度は、新型コロナウイルス感染症による社会への影響が大きく、夏原グラントの贈呈式を中止させていただきました。助成を受けていただいている団体の皆さんの交流を深めていただく機会をつくれなかったことを残念に思っております。

コロナ禍の中で活動内容を変更されたり、活動の休止を余儀なくされたりした団体も一部ありましたが、多くの団体が熱心に活動に取り組んでいただきました。

この度、2020年度の助成を受けていただいた団体の活動報告をとりまとめた「平和堂財団環境保全活動助成事業 夏原グラント活動報告書」が完成しました。滋賀県内・京都府内の環境に関する多様な活動について、本冊子で紹介していますので、ご高覧いただければ幸いです。

公益財団法人 平和堂財団
理事長 夏原 平和



目次

| | |
|--------------------------------|--------|
| 助成金の概要、選考基準、スケジュール | 1P |
| 選考委員、応募・採択事業数、説明会と事前相談会、公式サイト | 2P |
| 夏原グラントの特徴、市民環境講座 | 3P |
| 2020年度助成事業紹介・団体一覧表 | 4～5P |
| 事業報告 1年目 14団体 | 6～10P |
| コラム：募集要項はダウンロード可能 | 10P |
| 事業報告 2年目 10団体 | 11～14P |
| コラム：2012年度からの活動報告書 | 14P |
| 事業報告 3年目 12団体 | 15～18P |
| 事業報告 ステップアップ 2団体 | 19P |
| コラム：ロゴマークとリンクバナーの紹介 | 19P |
| 表彰された団体の紹介、表紙・裏表紙の写真の説明 | 20P |
| コラム：2020年度の事業を振り返って・画像による事業の紹介 | 21P |

助成金の概要

●名称

平和堂財団環境保全活動助成事業 「夏原グラント」

※グラント「grant」＝助成金

●対象となる事業

この助成金の対象は、主に琵琶湖およびその流域の環境保全活動で、滋賀県内・京都府内で実施される河川や湖等の水質保全、森林・里山保全、水源の森保全、生物多様性維持等の事業です。生活に身近な課題の解決に資する事業や、環境活動を軸に地域でのしくみやつながりを生み出すことを目的とした事業についても対象となります。具体的には、次に示すような種類および形態の活動です。

●活動の種類

- (1) 河川・湖沼などの自然環境の保護・保全活動
- (2) 森林の育成保全により、森林の多面的な機能を発揮・維持するための活動や林産物の活用を創出する活動
- (3) 里地里山の生物多様性を保全・創出するための活動や森・里・川の繋がりを再生する活動
- (4) 絶滅危惧種・稀少種に指定されている野生動物植物の保護・保全や生物多様性維持の活動
- (5) 地球温暖化・廃棄物減量などの課題を生活の中から考え、解決に向かう糸口を見つける活動
- (6) 市民が主体となって企画し、継続して行っている緑化活動や清掃活動

●活動の形態

- (1) 実践活動
- (2) 教育啓発・人材育成活動
- (3) 調査研究活動（実践活動に結びつくものが対象で、学術的な研究活動は対象外）

●一般助成金の対象となる団体

事務所を滋賀県内・京都府内に有するか、滋賀県内・京都府内で環境保全活動に取り組んでいるNPO法人、市民活動団体または学生団体

●ファーストステップ助成金の対象となる団体

- (1) 立ち上げ支援
これを機に活動を始めようとする団体
- (2) 小規模事業の支援
今まで比較的小規模事業を継続してきた団体
※採択となった団体はファーストステップ助成終了後、夏原グラント一般助成への応募が要件

●助成金の額

- (1) 一般助成
 - ①NPO法人、市民活動団体
1件あたり上限 50万円
 - ②学生団体
1件あたり上限 30万円
- (2) ファーストステップ助成
1件あたり上限 10万円



2020年度 募集要項

選考基準

- (1) 滋賀県内・京都府内の環境保全や地域創造に寄与すると認められること。
- (2) 他の団体のモデルとなるような先進的なテーマ設定や事業展開が期待されること。
- (3) 県民・府民の自主的な環境保全活動につながる波及効果が期待されるなど、成果が広く市民に還元されること。
- (4) 適切かつ効果的な事業手法がとられていること。

スケジュール

| | | |
|-------|--------------------|--------------------|
| 2019年 | 11月26日 | 説明会・事前相談会の開始 |
| | 12月2日 | 募集開始 |
| 2020年 | 1月31日 | 募集締め切り |
| | 2月25日 | 1年目1次選考会 |
| | 3月15日 | 2年目選考会・プレゼンテーション |
| | 3月20日 | 1年目2次選考会・プレゼンテーション |
| | 4月18日 | 贈呈式中止 |
| | 4月1日から2021年3月31日まで | 助成金事業実施期間 |

選考委員

| | |
|--------|-------------------------|
| 仁連 孝昭 | 滋賀県立大学 名誉教授 |
| 内田 香奈 | きょうとNPOセンター 副統括責任者 |
| 西野 麻知子 | 元びわこ成蹊スポーツ大学 教授 |
| 脇田 健一 | 龍谷大学 教授 |
| 辻村 琴美 | コミュニティ・アーキテクトネットワーク 理事長 |

(敬称略・順不同・2020年度選考当時)

応募・採択事業数

| | | |
|---------------------|------|-------------|
| 1年目事業応募数 | 22事業 | うち採択 14事業 |
| 2・3年目事業応募数 | 22事業 | うち採択 22事業 |
| ステップアップ応募数(1・2年目) | 7事業 | うち採択 2事業 |
| ファーストステップ応募数(1・2年目) | 24事業 | うち採択 22事業 |
| 助成総額 | | 14,880,000円 |

説明会と事前相談会

「夏原グラント」への応募を考えている団体のみなさまを対象に、説明会と事前相談会を同日開催しました。説明会では応募に関する説明の後、質問にお答えし、終了後は個別の相談に対応しました。会場では参加者から、応募書類の書き方、アピールできる事業企画書の書き方のポイント、予算書の書き方、公開プレゼンテーションのコツなどについての質問がありました。これらの相談には、夏原グラントの運営を担っているしがNPOセンターのスタッフがあたりました。

●開催日(すべて2019年)

| | | |
|-----------|---------------|---------|
| 11月26日(火) | 草津市立まちづくりセンター | (草津市) |
| 12月1日(日) | アクティ近江八幡 | (近江八幡市) |
| 12月2日(月) | ひと・まち交流館 京都 | (京都市) |
| 12月7日(土) | ハッシュタグ大津京 | (大津市) |
| 12月8日(日) | ガレリア亀岡 | (亀岡市) |

公式サイト

●夏原グラント公式サイト

<http://www.natsuhara-g.com/>

夏原グラントの概要や助成の実績など、詳しく掲載しています。

応募前や、事業実施中のQ&Aも掲載するなど、応募前から終了後までいねいな対応を心がけています。募集要項、申請書類、採択団体となつてから使用していただくロゴマークなどがダウンロードできます。

プロジェクト活動レポートのコーナーでは、事務局スタッフが活動の現場取材し、豊富な写真とともに紹介しています。

2020年度分からキーワード検索も可能になりました。ぜひ、アクセスしてください。スマートフォンでもご覧いただけます。



夏原グラントの特徴

夏原グラントは、単なる助成金だけの支援ではありません。

(1) 学びの場の提供

毎年、市民環境講座を開催し、助成先の団体だけでなく環境保全に興味のある方にも参加していただいています。講師は夏原グラント選考委員で、内容は環境保全の基礎や最新の知識、組織運営に関するワークショップなどです。講座を受講することで活動や組織のブラッシュアップをしていただくのが目的です。

(2) 交流機会の提供

各団体が他の地域や違う分野の活動について情報交換を行う機会を提供することにより、ネットワークを広げていただけます。

(3) 事務局サポート

しがNPOセンターの強みを活かして、事業実施中の団体からのさまざまな相談を受け、アドバイスを行っています。また、現地を訪問し、取材して「活動レポート」をサイトに公開することで、事業や団体の情報発信を行っています。

市民環境講座

この講座は助成団体だけでなく、保全活動に取り組んでいる団体やこれから取り組んでいこうとする方を対象に、オープン開催としています。夏原グラント選考委員のお二人にお話をいただきました。

●第1回 8月8日(土)

「環境保全活動で気をつけたいポイント」

講師：西野麻知子さん

(元びわこ成蹊スポーツ大学 教授)

種の多様性や貴重生物などについて具体的な事例をスライドで紹介。ゲンジボタル、ハリヨ、ヒガンバナなど、身近な事例も多く、質疑応答は生物多様性保全の視点から活発な時間となりました。コロナ感染対策として、会場だけでなく、初のオンライン（zoom）参加も選択可能としました。

●第2回 9月6日(日)

「効果的な活動のための団体運営のヒント」

講師：内田 香奈さん

(NPO 法人きょうとNPOセンター副統括責任者)

事業が拡大しても団体の組織基盤が脆弱だと、どこかで無理がくる。ということで、各団体のビジョン、ミッション、事業の確認作業を行いました。会場だけでなく、オンライン参加者同士もグループとなり、意見交換を行いました。最後は、コロナ時代の市民活動についてのお話で締めくくられました。



2020 年度採択事業紹介

2020 年度に夏原グラントの一般助成とステップアップ助成を受けた団体の活動をご紹介します。「夏原グラントで実施した事業の紹介」「環境や地域への貢献」「助成金が活きたと思う点」の3つについてお聞きしました。

1 年目 14 事業、2 年目 10 事業、3 年目 12 事業、ステップアップ(1 年目と 2 年目)2 事業の計 38 事業を掲載しています。



2020 年度助成事業・団体一覧

1 年目 14 事業

※右端の「P」欄は掲載ページ

| 地域 | 事業名 | 団体名 | P |
|----|------------------------------|-----------------------------|----|
| 滋賀 | 八島ふれあいの森づくり（世代をつなぐ里山の保全管理活動） | 八島里山づくり委員会 | 6 |
| 滋賀 | 横山森林公園の活性化 | 横山はらっぱ倶楽部 | 6 |
| 滋賀 | 子供向けの自然学習及び、生物調査 | Tread（学生団体） | 6 |
| 滋賀 | みんなで創る走井（はしり）の里 | 明日の走井を考える会 | 7 |
| 滋賀 | 草津市志津南学区地区内調整池等の雑草地整備 | 志津南『芝桜プロジェクト』 | 7 |
| 滋賀 | 棚田・里山・古代米・鮎プロジェクト | 棚田・里山・古代米・鮎プロジェクト | 7 |
| 滋賀 | 大津市内小学校の緑化・美化活動 | 滋賀県レイカディア大学同窓会 大津支部 | 8 |
| 滋賀 | 京都・滋賀でのコミュニティファームの設立 | 美土里ファーム・ コミュニティファーム実行委員会 | 8 |
| 京都 | 道普請ツアーと東屋づくり | 上宮津・杉山エコガイドの会 | 8 |
| 京都 | 希少種の保全 ヤマトサンショウウオの生息環境保全 | 特定非営利活動法人 亀岡人と自然のネットワーク | 9 |
| 京都 | 子ども自然観察会 | 桂坂野鳥遊園子ども自然観察会 | 9 |
| 京都 | 広げよう！森林環境学習活動 | フィールドソサイエティ | 9 |
| 京都 | 放置竹林問題対策活動団体の連携と教化によるパワーアップ | 一般社団法人 京都竹カフェ | 10 |
| 京都 | 希少コウモリの生態調査—保護と生物多様性維持に向けて | 島コウモリ調査グループ | 10 |

2 年目 10 事業

| 地域 | 事業名 | 団体名 | P |
|----|---------------------------------------|--------------------------|----|
| 滋賀 | 彼岸花の復活による堤防環境保全と地域づくり | 徳山環境保全会 | 11 |
| 滋賀 | 虎御前山の里山保全・整備活動 | 虎御前山古墳と中世城郭保全顕彰会 | 11 |
| 滋賀 | 八幡山城 豊臣秀次家臣団屋敷跡の竹林整備と 市民が親しめる環境づくり | 一般社団法人 秀次家臣団屋敷跡竹林を守る会 | 11 |

| 地域 | 事業名 | 団体名 | P |
|----|--------------------------------------|----------------------|----|
| 滋賀 | 猪子山・地獄越え山道整備事業 | 猪子山・地獄越え周辺の山道を良くする会 | 12 |
| 滋賀 | 滝区ササユリの咲きほこる里づくり | 滝区ササユリの里づくり委員会 | 12 |
| 滋賀 | 都市公園で育むナチュラル・ガーデンと ナチュラル・キンダーガーデン | ボランティアグループ：森の風音 | 12 |
| 滋賀 | 滋賀県のオオサンショウウオに関する調査・研究 | 滋賀のオオサンショウウオを守る会 | 13 |
| 京都 | 2020年度桑木クヌギ植え付け事業 | 特定非営利活動法人 京都桑田村 | 13 |
| 京都 | 中世木の里山・棚田を守るプロジェクト | 中世木ビジョン委員会 | 13 |
| 京都 | 放置竹林整備事業 | 特定非営利活動法人 八幡たけくらぶ | 14 |

3年目 12事業

| 地域 | 事業名 | 団体名 | P |
|----|--------------------------------|--------------------------|----|
| 滋賀 | 野鳥の気持ちを知るプラットフォームづくり | 山中比叡平里山倶楽部 | 15 |
| 滋賀 | 近江の苗木ニューブーム推進事業～全国植樹祭を成功させよう～ | 滋賀県苗木ネットワーク | 15 |
| 滋賀 | 「ヨシ群落・水郷・琵琶湖」の魅力を発信・案内するしくみづくり | ヨシネットワーク | 15 |
| 滋賀 | 耕作放棄棚田の再生と伊吹の薬草復活プロジェクト | 伊吹くらしのやくそう倶楽部 | 16 |
| 滋賀 | 遊休農地活用産材による甘味防災保存食事業 | みんなの家 EH | 16 |
| 滋賀 | 荒神山ファンクラブプロジェクト | 荒神山ファンクラブ | 16 |
| 滋賀 | 西の湖ヨシ灯り展 | 西の湖ヨシ灯り展実行委員会 | 17 |
| 滋賀 | 緑の手入れを通じての“高齢者支援対策”と“空き家対策” | 志津南環境美化ボランティアの会 | 17 |
| 滋賀 | 里山の整備保全と地域との交流活動 | 特定非営利活動法人 甲賀の環境・里山元気会 | 17 |
| 京都 | 久多の山と遊ぶビーバーの会 | 自然住宅情報ひろば | 18 |
| 京都 | 鹿背山おやこの森の kichi | 特定非営利活動法人 こそだてママ net | 18 |
| 京都 | 里山の保全 地域のコミュニティづくり | 重利の山を守る会 | 18 |

ステップアップ1年目 1事業

| 地域 | 事業名 | 団体名 | P |
|----|---------------|------|----|
| 滋賀 | 野性傷病鳥獣の救護追跡事業 | 放鳥's | 19 |

ステップアップ2年目 1事業

| 地域 | 事業名 | 団体名 | P |
|----|------------------------------|---------------------------|----|
| 滋賀 | Re 梵(リボン)大作戦 ～梵釈寺から始まる里山の再生～ | 特定非営利活動法人 里山保全活動団体 遊林会 | 19 |

八島ふれあいの森づくり (世代をつなぐ里山の保管理活動) 八島里山づくり委員会

活動場所 滋賀県長浜市八島町
所在地 滋賀県長浜市八島町

夏原グラントで実施した事業の紹介

獣害防止のために、防止柵周辺の緩衝帯のための除伐・除草に取り組むとともに、雑草木(目的種以外)の刈払いや風倒木・枯損木の除去・処理を行い、見晴らしのよい里山保全に努めました。
作業道や遊歩道などの補修、駐車場の整備に取り組み、住民が里山とふれあいやすい環境整備に努めました。

環境や地域への貢献

里山の保管理活動に取り組むことにより、里山の荒廃を防ぎ、獣害対策としての効果を発揮できました。
また、長年の懸案でありました荒廃地を切り開き、駐車場を一部整備できました。
さらに、地域の子供たちや保護者と椎茸の菌打ち体験に取り組むこともできました。
森林資源を利用した椎茸栽培に取り組み、地域の全所帯に椎茸を配ることができました。

助成金が活きたと思う点

多くの住民から要望があり、長年の課題となっていました国道365号線沿いの荒廃地を切り開き、駐車場として一部整備できて景観が非常によくなり、住民から高く評価されました。



横山森林公園の活性化

横山はらっぱ倶楽部

活動場所 滋賀県長浜市横山森林公園
所在地 滋賀県長浜市名越町

夏原グラントで実施した事業の紹介

横山森林公園の一面をなす四面山は、進行する枯れで荒廃しており、その復元に着手しました。枯松の処理、雑木の間伐が進み、特に見晴台が甦りました。一方、松に代わる樹木の苗木づくり、及び植樹も始めました。また、横山丘陵の魅力を発信する冊子の増刷を行い、市民に提供しています。

環境や地域への貢献

進行する枯松の都度処理を実施し、環境保全・景観の改善に寄与していると思います。
見晴台から伊吹山、琵琶湖を眺望できるビューポイントは訪れるハイカーの憩いのエリアと期待されます。
今年度は新型コロナウイルスの問題もあり、地域住民参加の各種イベントは、残念ながら開催できませんでした。

助成金が活きたと思う点

助成金をいただき永年の懸案だったチェーンソー及び装備の補充、メンテナンスができ、作業能率の向上が図れました。樹木の苗木購入で、枯木に代わる植樹も促進されつつあり、従来の単なる里山の復元から里山の活性化に重点が移行しました。私たちの活動自体の活性化とレベルアップにも寄与していると思います。



子供向けの自然学習及び、生物調査

Tread

活動場所 滋賀県 日野町 鎌掛地域
所在地 滋賀県甲賀市
連絡先 滋賀県甲賀市土山町黒川2063

夏原グラントで実施した事業の紹介

私たちは、滋賀県日野町鎌掛地区をフィールドに、地域の環境や文化に焦点をあてて活動をしています。主に地域の川の水質調査や生息する生き物について調べたり、地域の人に昔と今の鎌掛地域の環境について聞き取り調査を行ったりしています。そして調べたことを可視化する媒体として、紙芝居やかるたを制作し地域内外の人にわかりやすく伝える活動をしています。

環境や地域への貢献

活動を始めて4年目になりますが、私たちの活動は、地域の人々と一緒に活動することを大切にしています。地域の方から、最近では地域の子供たちも私たちが作ったかるたで遊んで、鎌掛地域のことについて学んでくれていると聞いています。

助成金が活きたと思う点

私たちの活動は調べたことのまとめとして、毎年媒体を制作しています。今年のはかるたを制作し、紙代や印刷代など、自己資金だけでは賅うことができなかったのですが、夏原グラント助成金に費用面で大変助けをいただきました。



みんなで創る走井（はしり）の里

明日の走井を考える会

活動場所 滋賀県栗東市荒張走井地先
所在地 滋賀県栗東市荒張 556
連絡先 090-2705-6368 小林

夏原グラントで実施した事業の紹介

我々の活動は、過疎化が進み存続の危機に瀕した地域の自然を守り、活性化させ、地域を守ることです。そのために地域に通じる道路約800mの両脇に紫陽花を植えています。年4回の手入れと1回の植樹を行い、150本拡張しました。他にイベント広場をつくり、草刈や整備を行っています。

また、放棄された圃場を復活させ、田植えと稲刈りの体験を行い、獲れた米を収穫祭で釜で炊いて、試食したり、お土産にもしました。

環境や地域への貢献

中山間地なので自然は多くありますが、放置状態でした。道路脇に紫陽花を植えるために草や林を刈っているので整備されます。体験農場も隣接しており、綺麗な状態になりました。毎日通る道であり晴々します。通学路にもなっていますので、子供の心や安全面でもよい影響を与えています。

助成金が活きたと思う点

何をやるにも資金が必要です。この事業をやるために、年間10回程の出役をお願いしております。活動は手弁当でお願いしていますが、保険代や物品費のために金銭をいただくのは嬉しいです。助成金があるので実施できています。



草津市志津南学区区内調整池等の雑草地整備 志津南『芝桜プロジェクト』

活動場所 滋賀県草津市若草及び岡本西地区
所在地 滋賀県草津市若草 5-10
志津南まちづくりセンター内



夏原グラントで実施した事業の紹介

志津南地区内の雑草地を、グランドカバーとして定評のある芝桜で変容させて、地域の環境美化に貢献することを目的として活動しています。

ファーストステップ助成を含む3年間で、地域内にある防災調整池を皮切りに、まちづくりセンター、滋賀銀行出張所、志津南小学校等に、約2000本の芝桜苗を植え付けることができました。

環境や地域への貢献

地域の美観向上に少なからず貢献してきているとの実感が徐々に湧いてきています。地域内にある志津南小学校や銀行からも芝桜植え付け要請を受ける等、周りの人からの暖かい励ましや援助、労いの言葉等々とても有難く感じています。

助成金が活きたと思う点

3年前にファーストステップ助成に採択され、助成金をいただけることになりましたが、それがキッカケとなり芝桜植栽事業を本格的に進めることができるようになりました。高齢のボランティア仲間の親睦を進めながら、楽しく作業を行っています。有難うございます。



棚田・里山・古代米・鮎プロジェクト 棚田・里山・古代米・鮎プロジェクト

活動場所 滋賀県大津市真野谷口町 県営春日山公園 地先
所在地 滋賀県大津市浜大津四丁目1番1号
明日都浜大津1F 市民活動センター内
連絡先 tanada.kodaimai@gmail.com,

夏原グラントで実施した事業の紹介

棚田は希少な植物、鳥類、昆虫など里山を棲家とする多くの生き物が生息しています。この棚田・里山をうまく管理しつつ、景観と生き物の成育の保全、環境学習や活動の場として学童や団体に開放しています。田植体験などのイベントや日常活動を通して自然の豊さに気づき、この活動に参加する方も増えています。

環境や地域への貢献

「稲刈と稲木ほし体験」、「収穫祭」、自然観察会などに多くの家族が参加しました。また、多くの団体がこの活動に賛同し、棚田とその周辺の里山保全活動や古代米（黒米玄米）の販売と広報活動にご協力いただきました。収穫した古代米（黒米玄米）は大津市ふるさと納税の返礼品に採用され、安定した活動資金の一部となっています。

助成金が活きたと思う点

夏原グラント助成金事業ということが団体の信用を高めました。メンバーには「楽しく、やりがい」のある活動のために活動旅費の一部の支給や老朽化した設備・備品の修繕や補充などに資することができました。



大津市内小学校の緑化・美化活動 滋賀県レイカディア大学同窓会 大津支部

活動場所 滋賀県大津市立小学校、幼稚園等
所在地 滋賀県大津市
連絡先 520-0226 滋賀県大津市陽明町 12-9
T:090-7115-7012



夏原グラントで実施した事業の紹介

大津市内の27小学校と2幼稚園、1児童クラブを訪問して、校庭と園内の樹木剪定刈込と花壇整備等の環境美化活動を行いました。

環境や地域への貢献

小学校校庭の樹木剪定や刈込を行ったことで、校門等から見える校内樹木の整備の行き届いた状況がわかるようになったのと、児童の活動によりよい環境への整備に貢献できました。

環境整備活動に参加を呼び掛けるパンフレットを作成し、各支所と公民館に置いた効果で、地域住民とレイカディア大学在校生から参加者が増えることに繋がりました。

助成金が活きたと思う点

小学校の環境美化活動の休憩時に、学校からヤカンと湯呑でお茶の提供を受けていたのですが、新型コロナの影響から辞退して、助成金からペットボトルを購入して配布できました。さらに、同窓会大津支部印刷のビブスを着用して活動をしていましたが、新型コロナの影響から、使用後洗濯して次の担当者に引き継ぐことができなくなり、新規に購入して使い回しを避けられるようになりました。

京都・滋賀でのコミュニティファームの設立 美土里ファーム・コミュニティファーム実行委員会

活動場所 滋賀県高島市朽木地区平良集落
所在地 京都市中京区
連絡先 京都市中京区聚楽廻東町 9-8
T:075-204-6041、090-6915-2928



夏原グラントで実施した事業の紹介

本プロジェクトは、滋賀県高島市朽木地区平良集落の耕作放棄地を地元の農家から借り受け、農地として再生させるところから始まりました。初年度はさつまいもの有機栽培を通して、植え付け・手入れ・収穫などの工程に沿って都市部からの参加者を募り、イベントやワークショップを実施する中で参加者が共同で管理する市民参加型のコミュニティファームを立ち上げました。コロナ禍で計画の変更が余儀なくされる場面もありましたが、Zoomでの中継やYouTube動画のアーカイブなどを活用し、さつまいもの生育具合と作業の進捗状況をオンラインで共有しながら進めました。最終的には、およそ200kgに及ぶさつまいもを収穫することができ、参加者や地域の住民に採れたさつまいもを配る形で活動の成果を還元することができました。

環境や地域への貢献

参加者は農村地域での直接の体験を通して、私たちが普段口にしていく農作物が作られる過程、地産地消や有機農業のメリットについて学びました。耕作放棄地を地域の資源として農地に再生させることで、地域の新たな魅力や活性化への可能性を探るきっかけになったのではないかと思います。

助成金が活きたと思う点

コロナ禍の計画が見通せない状況の中でもプロジェクトを進めることができ、また、私たちの取り組みに対する地域住民や参加者からの信頼性を高める結果となりました。

道普請ツアーと東屋づくり

活動場所 京都府宮津市小田 杉山
所在地 京都府宮津市
連絡先 宮津市小田 829、T:0772-22-4739



上宮津・杉山エコガイドの会

夏原グラントで実施した事業の紹介

杉山を通る古道・元普甲道の峠・茶屋ケ成に東屋を設置することができました。地元の財産区からいただいた檜と助成金を使って宮津高校建築科の生徒が作ってくれました。「祝完成古道歩き」も実施しました。秋には、宮津街道の道普請ツアーを実施しました。地元3高校から24名、一般公募も併せて40名ほどで宮津街道の道普請をしていただきました。街道の存在を初めて知った参加者も多く、平安からの歴史に思いをはせていただきました。また、コロナ禍で大学生が来ない分の費用で、鹿害から植生を守るために柵設置を実施しました。

環境や地域への貢献

道普請ツアーで、地域の財産である宮津街道の石畳が、歩きやすくなりました。また、金網メッシュ柵で、前には見られた山野草などが復活してくれることを願っています。

助成金が活きたと思う点

峠の東屋完成により、古道歩きをする人が、雨除けに使える場所ができました。古道の道普請を通じて、地元の高校生を始めスタッフに参加した地元の若者などが杉山の歴史や自然の魅力を感じ、今後守り維持する活動へとつがる可能性ができたことがよかったです。

希少種の保全 ヤマトサンショウウオの生息環境保全

特定非営利活動法人亀岡人と自然のネットワーク

活動場所 京都府亀岡市、南丹市
所在地 京都府亀岡市
連絡先 090-5962-4426 (担当：宇野)



夏原グラントで実施した事業の紹介

京都府亀岡市で発見された希少種ヤマトサンショウウオの生息地の一つが開発により消えてしまいました。そこで、我々は残された生息地の保全活動を行い、地元の子供たちを中心に紹介するイベントなどを開催しました。具体的には、トラップカメラを仕掛けて、捕食者となるアライグマが生息していないか、隠れ家を壊すイノシシが大きな影響を与えていないかを中心に調べました。また、ヤマトサンショウウオが一年を通してどのような生息地の利用を行っているかを月2回以上のペースで観察を行いました。結果として、卵塊から幼生、幼体、成体に至るまでのすべての成長段階に出会えたことで非常に貴重な情報が集まりました。

環境や地域への貢献

子供たちの前でヤマトサンショウウオの存在を紹介した時は、初めて聞いた生き物にとっても興味を持ってもらえました。子供に興味を持ってもらえるということは、今後の生き物を守っていく基盤作りに貢献できたと感じています。また、地元住民からの理解もいただけたので、地元の魅力を再発見していただけたと感じました。

助成金が活きたと思う点

助成金で購入したトラップカメラにより、アライグマの生息が確認できたことは非常に有効でした。また、専門家に現地を視察してもらいアドバイスをいただけたことも、今後の活動の指針となりました。

子ども自然観察会

活動場所 京都府京都市西京区御陵北大枝山町 1-100
(桂坂野鳥遊園)
所在地 京都府京都市西京区川島流田町 80-64 伊規須貞子



桂坂野鳥遊園子ども自然観察会

夏原グラントで実施した事業の紹介

京都市西京区にある京都市の施設「桂坂野鳥遊園」を中心に、毎月第4土曜日、子どもたちとその家族で、自然観察会を行いました。

子ども達にとって、五感を使って様々な自然を観察し、その感動を身につけることは、豊かな人間性を育てる上で何よりも大切なことと思われれます。季節が変わるごとに異なる生き物の姿、目に見えないような小さな昆虫から、大きな野鳥まで、それぞれに必死になって生き、子孫を残すためにたたかう姿は、子ども達に大きな驚きを与えるとともに、様々な疑問を呼び起こし、さらなる探求心を育てています。

環境や地域への貢献

子どもたちは、自分の身の回りに多様性に富んだ豊かな自然のあること、それらを大切に守っていくことが、いかに大切かを、身に沁みて感じてくれたと思います。

助成金が活きたと思う点

ホームページを開設して、毎回の活動の様子や、その時に見たいろいろな生物の写真を記録することができました。また、それらの写真を、「桂坂野鳥遊園の昆虫とクモ」という小冊子にまとめることができました。

広げよう！森林環境学習活動

活動場所 京都府京都市左京区鹿ヶ谷
所在地 京都府京都市左京区鹿ヶ谷法然院町 72-2
法然院森のセンター
連絡先 京都府京都市左京区鹿ヶ谷法然院町 72-2
法然院森のセンター、075-752-4582
moricient@deluxe.ocn.ne.jp



フィールドソサイエティー

夏原グラントで実施した事業の紹介

森林環境学習活動を通して「森に親しみ、森を知り、森を保全する」事業を実施しました。活動フィールドを整備し、並行して生きもの調べる兼ねた観察会を開催、そして、森林環境を様々な角度から理解するために、琵琶湖までのハイキング、縄文土器づくり、環境漫画展などを、身近な生きものとの繋がりを知るために、きのこ染め、ムササビ観察会などを開催しました。これらの事業は、専門家や他団体との連携を深める機会にもなりました。

環境や地域への貢献

フィールドが都市近郊林であるため、その環境保全・生物多様性保全に直接関わる活動ができました。会誌等で報告し、身近な森の重要性や課題を世代を超えて共有できました。

助成金が活きたと思う点

助成金の活用により、日頃できないフィールド整備、専門的知見に基づいた生きもの調べ、そしてユニークな催しも実現できました。特にコロナ禍での新しい生活様式を考えざるを得ないなか、野外活動を望む声や子どもたちの積極的な参加が印象的でした。多彩な森林環境学習活動事業の推進はそれらに応えることにもなり、助成金が活きたと思います。

放置竹林問題対策活動団体の連携と教化によるパワーアップ 一般社団法人京都竹カフェ

活動場所 京都市・長岡京市を中心とした京都府内
所在地 事務所・本部:京都市左京区
連絡先 take.cafe.kyoto@gmail.com, 070-5436-3123



夏原グラントで実施した事業の紹介

我々は放置竹林対策活動を中心とした環境保全団体です。今年度はコロナで翻弄されました。主目的に掲げた連携のための集客ができなかったのみならず、会員の会議も困難だったためです。竹検定を二回のうち一回のみかつ郵送実施、竹まなびツアーは中止、冊子の刊行も中止、府内の放置竹林の状況を府庁と共に調査しまとめる竹林マップも中途までで終結せず、と以上の活動は労多くして成果は散々でした。しかし代わりに竹セミナーは人数を絞ることやウェブ開催など、開催形態の工夫を重ねて大幅増回し5回実施しました。また、当初着手のみの予定のドローン観測が少人数でできることもあり、熱心に活動でき、かつ自治体などとの連携にも一役買ってくれました。

環境や地域への貢献

今年度第一回竹セミナーは京都市京エコロジーセンターと、第三回は長岡京市と協働にて開催しました。両市の行事へ協力できました。また、ドローン空撮によって官との連携が進み、以下いずれも許可を得て、長岡京市内の公園、淀川河川敷、京都市の洛西竹林公園などで観測しました。

助成金が活きたと思う点

収入源のない我々にとっては助成金は活動の根源です。有難うございました。

希少コウモリの生態調査—保護と生物多様性維持に向けて 島コウモリ調査グループ

活動場所 京都府、沖縄県、東京都(小笠原)など
所在地 京都府京都市
連絡先 〒606-8501 京都市左京区吉田本町
総合研究 12号館 405号室、090-8530-7782
 www.batresearch.net

夏原グラントで実施した事業の紹介

私たちは、京都の希少なコウモリの保護に必要な情報を収集するため、自動記録装置を使って川沿いや森の中の分布を調べています。この研究プロジェクトは、希少動物の保護と生物多様性の維持に貢献することを目的としています。2020年度の活動では、超音波の録音機を設置するためのフィールドワークを行いました。ソフトウェアを使って録音したコウモリの鳴き声のデータを解析することで、地域によっての活動時間の違いなどコウモリに関する多くの有益な情報を得ることができました。また、京都と滋賀のコウモリに関する情報を伝えるためのウェブページを作成しました。続いて、京都の保育園児、小学生と先生方に向けたコウモリの保護に関する講義を行い、コウモリに対する偏見をなくするためのアウトリーチプログラムも実施しました。

環境や地域への貢献

生徒達のもっと知りたいという気持ちが強く、コウモリについて多くの質問が寄せられたため、若い世代に若い世代に野生動物の保全の重要性を伝えることができたと思います。

助成金が活きたと思う点

夏原グラントには、フィールドワークの実施や、子どもたちと楽しく魅力的なアウトリーチ活動を行うために必要な費用を支援していただきありがとうございました。



募集要項はダウンロード可能



毎年12月には次年度の募集要項を作成し、滋賀県と京都府各地の中間支援センターや環境施設に送ります。

同時に、夏原グラントサイトからも同じ内容のpdfデータをダウンロードできるようにしますので、ぜひご利用ください。

右のQRコードで、要項を公開しているページにアクセスができます。※11月下旬～12月初旬にリリース



彼岸花の復活による堤防環境保全と地域づくり

徳山環境保全会

活動場所 滋賀県長浜市徳山町地先
所在地 眞原長浜市
連絡先 滋賀県長浜市徳山町 310 (西川又寛)
090-4305-9608



夏原グラントで実施した事業の紹介

一級河川草野川の堤防に1 kmにわたって、毎年彼岸花の球根を植栽し、通学路を兼ねた堤防の環境保全を行っています。開花時期には、10万本以上の彼岸花が堤防を真っ赤に染めるようになってきました。この活動を集落の活性化だけでなく、市の環境整備事業のひとつとして位置づけられるよう市関係者と協議を行いました。

環境や地域への貢献

彼岸花をきれいに開花させるために、集落はもとより、地域のまちづくりセンターや多くのボランティアの方の応援によって、何度も堤防の草刈りが実施されています。開花時期には県内はもとより、他府県から多くの人が訪れ、秋の憩いの場になっています。また、活動の視察に訪れる団体も多くなり、その人達とお互いの活動についてお話をすることで大きな刺激をいただいています。数年前から対岸のそれぞれの集落が堤防の路肩8 kmにわたってコスモスを植えられ、毎年「お市マラソン」を走る選手達や沿道の観客にきれいな癒やしの景観を提供しています。近年では草野川の堤防が春は桜、秋は彼岸花、コスモスと地域住民の憩いの場となりつつあります。

助成金が活きたと思う点

場所がわかりにくかったので案内看板をたくさん製作して設置しました。好評のパンフレットも増刷できました。また、草刈り刃の支給や草刈り機を所有していない会員のための器械貸与など懸案だった多くの問題が解決されました。当初から、ほとんど資金なしの状態でしたが、夏原グラントが引き金となって、自治会からも少し補助金をいただけることになりました。

虎御前山の里山保全・整備活動

虎御前山古墳と中世城郭保全顕彰会

活動場所 滋賀県長浜市虎御前山
所在地 滋賀県長浜市三川町 1632-2 虎姫時遊館



夏原グラントで実施した事業の紹介

保全顕彰会の活動を始めて10年が経過し、これまでの測量の成果を報告集(1)として刊行することができました。本年は報告書を基に読み物資料として、虎御前山の自然や歴史と共に、山にまつわる伝承なども掲載し発行することとしました。8月から毎月編集会議を開き取り組んできました。

環境や地域への貢献

山の整備が進み、里山としての価値や大切さについて思いを新たに、また深くすることになったと思います。春と秋の整備作業にはいつも多くの方に協力していただいています。山を訪れる人も古墳や城郭などの遺構を楽しんでいます。

助成金が活きたと思う点

報告書や読み物資料を発行できたことが第1のことと思います。報告書(1)では古墳や城郭の遺構を詳しく説明し、本会の活動の一端を紹介しました。本年の読みもの資料は「虎御前山の風と音」と題して、地域に残る餅の井や虎御前の伝承、懐かしい方言集など盛り込みました。多くの人に読んでもらい、里山保全への関心を高めたいと思います。

八幡山城 豊臣秀次家臣団屋敷跡の 竹林整備と市民が親しめる環境づくり

一般社団法人 秀次家臣団屋敷跡竹林を守る会

活動場所 滋賀県近江八幡市宮内町地先の竹藪
所在地 滋賀県近江八幡市新町 1-18
連絡先 0748-32-4435、k-kazuhiko3@yk2.so-net.ne.jp



夏原グラントで実施した事業の紹介

毎月第二土曜日の午前中に竹林の整備作業を実施しました。2020年度の毎月の参加者数は約30名です。

作業内容は竹ノコやチェーンソーで枯れ竹や密生した竹を伐採、整理と除草作業です。過去4年半の作業の継続により竹林全体の約4分の3程度が整備されました。

環境や地域への貢献

近隣住宅への倒竹の被害や土砂が未然に予防できたことや景観上も八幡山南麓の整備された竹林としてよい風景となっています。

助成金が活きたと思う点

作業の効率化を図るため助成金でチェーンソー2台、草刈機1台を新たに購入、活用できました。また、竹ノコギリ替え刃や作業ベルトも備えることができました。

これらの備品や消耗品の購入、活用により毎月の作業がスムーズに実施できたと考えます。

猪子山・地獄越え山道整備事業

猪子山・地獄越え周辺の山道を良くする会

活動場所 滋賀県東近江市能登川地区及び五個荘地区
所在地 滋賀県東近江市能登川町

夏原グラントで実施した事業の紹介

当会は猪子山・地獄越え周辺の山道の朽ちた丸太を取り替える活動を続けてまいりました。コロナ禍でしたが、4月から6月までは、当初の計画通り順調に活動を進め、120本の丸太を取り替え、暑期となる7～8月の休止期に入りました。この休止期中に、主要メンバーの予期せぬアクシデントから活動の継続が困難となってしまいました。何とか9月から11月までの3か月間は、毎月30本づつ計90本の取り替えを行いました。誠に残念ながら、道半ばで活動を終えることになりました。

環境や地域への貢献

JR能登川駅から5分という猪子山登り口から八日市太郎坊への山道は、丸太の整備とともに年々人気のトレッキングコースに育ってきましたが、今年度はコロナ禍に阻まれてイベントも中止せざるを得ませんでした。

助成金が活きたと思う点

本事業は「丸太の取り替え」に必要な丸太と金具の調達主力で、この資金調達は夏原グラントのおかげで続けてこれたものです。スタート時と比べると、見違えるように美しい山道にすることができました。ここで途切れるのはまことに残念ですが、人あつての事業ですので止むを得ません。また、いつの日か再度挑戦できる日のくることを願いつつ、終わらせていただきます。ご支援、本当にありがとうございました。



滝区ササユリの咲きほこる里づくり

滝区ササユリの里づくり委員会

活動場所 滋賀県甲賀市甲賀町滝
所在地 滋賀県甲賀市甲賀町滝 855
連絡先 TEL090-1145-2601
甲賀町滝 825-2 渡邊健三

夏原グラントで実施した事業の紹介

高校の協力も得ながら地域の3世代が力を合わせ、里山の環境保全やササユリの増殖を通じ互いの交流を図っています。このことで、次世代の育成や良好な地域社会の推進につながります。この取組みを広く知っていただくため、コロナ禍の中、夏原グラント事務局（しがNPOセンター）の助言でオンライン鑑賞会を実施しました。また、多くの来訪者を見込んで視察案内パンフレットを作成しました。

環境や地域への貢献

この事業も開始から13年が経過し、里山にもササユリが見られ、近隣からも視察者が訪問されるようになってきました。地域住民みんな育てる活動は、ササユリの復活だけでなく、地域の活性化、人づくりにも役立っています。

助成金が活きたと思う点

ササユリの育苗が一番困難な夏場の高温多湿な条件を回避するため、被覆資材を購入でき、安定した苗づくりができるようになりました。先進地視察により新しい交流相手ことができました。オンライン鑑賞会を実施し自信を得たことで、SNSによる情報発信を新たに行います。視察案内パンフレットも作成できました。



都市公園で育むナチュラル・ガーデンとナチュラル・キンダーガーデン

ボランティアグループ：森の風音

活動場所 滋賀県営都市公園「びわこ文化公園」
所在地 滋賀県大津市瀬田大江町横谷 1-5
龍谷大学金子研究室内
連絡先 TEL・FAX 077-544-7209
rkaneko@soc.ryukoku.ac.jp

夏原グラントで実施した事業の紹介

滋賀県営都市公園「びわこ文化公園」の西ゾーンで活動する環境ボランティア：森の風音が、2001年から、間伐、植樹、遊歩道整備、さらには日本在来の植物で構成する自然風庭園（ナチュラルガーデン）づくりなどを進めて、来園者が憩える場づくりを行っています。

そこに、野外保育「せた♪森のようちえん」（ナチュラル・キンダーガーデン）が2012年から活動を始めて、協働して事業を進めています。

環境や地域への貢献

住宅地に近く、多くの県民が訪れるびわこ文化公園の西側の里山ゾーンを整備して、公園の活性化に寄与しています。そこでは、生物多様性を意識して、生息する動物の食餌となる植栽を進めてきました。一方、植生を乱すシカやイノシシの駆除対策も行っています。

助成金が活きたと思う点

主として、草木の苗を購入して、長さ100m、幅30mの広大なモミジ林下に日本在来の植物で構成するジャパニーズ・ナチュラルガーデンづくりを進められました。また、森のようちえんで使用する道具類も購入できました。



滋賀県のオオサンショウウオに関する調査・研究 滋賀のオオサンショウウオを守る会

活動場所 滋賀県
所在地 滋賀県高島市永田 856 (岡野方)
連絡先 siga.oosannmamoru@gmail.com



夏原グラントで実施した事業の紹介

滋賀県に生息する特別天然記念物・オオサンショウウオを守るため、様々な調査・研究・保護活動をしています。現存する日本固有種の集団を守るため生息状況の調査や地域の方々に参加頂く生物観察会など、啓発活動も行っています。さらに、他の地域で中国種との交雑による遺伝子汚染の問題は深刻化しており、注力している課題です。

環境や地域への貢献

本会の活動を知った団体から観察会コーディネートの打診がありました。残念ながら都合がつかず実現できませんでしたが、我々の活動を知って興味を持って頂き、活動の手ごたえを感じました。また、オオサンショウウオの生息河川の河川改修工事の際、県・市からの要請で、オオサンショウウオ保護の為の提言を行い、生息環境への工事の影響を抑えられたと考えています。

助成金が活きたと思う点

各個体に標識するICチップのリーダーが購入できたことで、より効率的に調査ができるようになり、非常に助かりました。また、遺伝子鑑定と環境DNA解析を研究機関に委託することで、科学的な根拠に基づく事業展開ができました。

2020年度桑木クヌギ植え付け事業

特定非営利活動法人京都桑田村

活動場所 京都府南丹市美山町豊郷
所在地 京都府南丹市美山町豊郷向谷 17番・18番合地 1
連絡先 理事長 柿迫義昭 TEL 0771-76-0040, 090-8820-3959
FAX 0771-76-0049, fuaje509@cans.zaq.ne.jp



夏原グラントで実施した事業の紹介

たかつかさ保育園児年長組が年間3回来村して、田舎体験をしています。夏と秋は合宿で古民家に宿泊し、春は日帰り来村して、桑木を卒園記念として植樹します。夏合宿は新型コロナ禍で中止しましたが、秋合宿は卒園園児27名と園長や保育士、親御さん等が17名参加し、会員と昔遊びや稲穂の脱穀体験、川遊び、夕食づくりなどで交流しました。モンドリを引き上げ魚取りを楽しみ、桑畑で虫取りなどをしながら先輩が卒園記念で植えた桑木を見つけては記念写真を撮って楽しみました。新型コロナ禍で卒園記念植樹会は、保育園の園長や担任の保育士が園児に替わって来村され、桑木を会員と一緒に植え付けました。

環境や地域への貢献

情操教育として蚕の飼育をしている保育園から桑葉の提供の依頼を受けました。また、保育園と縁がある染織家の伊豆蔵明彦氏からも依頼を受け、桑葉の提供を行いました。この取り組みから桑木の育成に力が入り、会員にも生産意欲が生まれてきました。元々養蚕が盛んな地域でもあり、高齢者の培った技術や知識を生かします。

助成金が活きたと思う点

助成金をいただくことで桑の苗木の購入とクヌギの育成や植え付けができ、保育園や染織家への桑葉の提供が可能になりました。荒廃しつつある里地に桑を、里山にクヌギを植えることで手入れができました。取り組みを通して、高齢者の繋がりが深まり、会員の元気づくりに貢献ができました。また、卒園した園児が来村し、桑畑で同窓会が開かれるなど「関係人口」が増加して、地域活性化に大きく役割を果たしてきました。

中世木の里山・棚田を守るプロジェクト

中世木ビジョン委員会

活動場所 京都府南丹市日吉町中世木
所在地 京都府南丹市日吉町中世木赤部 8



夏原グラントで実施した事業の紹介

夏原ファーストステップで作成した中世木ビジョン委員会「マンダラチャート」に基づいて、今年度も活動予定でしたが、コロナ禍により、地域外からの参加は止め、地域内でも検温、消毒、密を避け、主に屋外活動を行いました。自然を守るワークショップでは、集落のおとなから集落の子ども達(3人)が学ぶとして計10回のワークショップを行いました。延べ200名近くが参加しました。

9月には里山の杉皮を使った染色体験、「新米まつり」を開催、10月には里山でどんぐりを拾ってアクセサリー作り、12月には地元の人をみんなで知ろうと「中世木の山歩き」を行いました。この地域が都の燃料(薪、炭)を賄っていたことを知りました。これらを通じて、地域の人たち、子ども達が地域のよさを認識しました。子どもの遊び場づくりとして周りに植樹をしました。

環境や地域への貢献

地域の子供達、人達に地域の自然を学ぶワークショップを開催したことで、自然の恵みの感謝、自然を守ろうという意識が一層醸成されました。特に、子ども達には自然体験を通じて、自然の素晴らしさを体感しました。

助成金が活きたと思う点

助成金により、活動が活発化しました。来年以降も、参加費や協力金により自立運営を目指していきます。

放置竹林整備事業

特定非営利活動法人八幡たけくらぶ

活動場所 京都府八幡市
所在地 京都府八幡市八幡平ノ山 85
連絡先 TEL: 075-982-3695、ytc2016@cap.ocn.ne.jp



夏原グラントで実施した事業の紹介

京都府八幡市男山周辺の里山で、荒れた放置竹林の整備活動を行っています。景観保全のために、竹の皆伐・間伐・除伐・下草刈り・粉碎作業などを行い、竹林と雑木林の分離共生を図り、里山の維持管理活動を実施しています。

環境や地域への貢献

整備された竹林は景観も美しく、自然環境も保全されます。竹林と雑木林を分離することで周りの樹木の活性化にも役立ち、河川水を清らかにし、適切な生態系の維持につながると考えています。市民参加型の竹林整備体験や男山散策道(3コース)の補修整備も実施し、環境保全の大切さを学ぶことができました。また、展望台周辺庭園の植栽整備にも力を入れており、四季折々の花を咲かせることで、観光客や散策者から感嘆の声が寄せられています。

助成金が活きたと思う点

竹林整備に必要な器具類・チェーンソーや刈払い機などの燃料、竹専用ノコギリの替刃・作業道/散策道確保用の安全ロープや木杭などの消耗品の購入。また、8か所にまたがる竹林への交通費、植栽用肥料の充実など、大いに活用させていただきました。

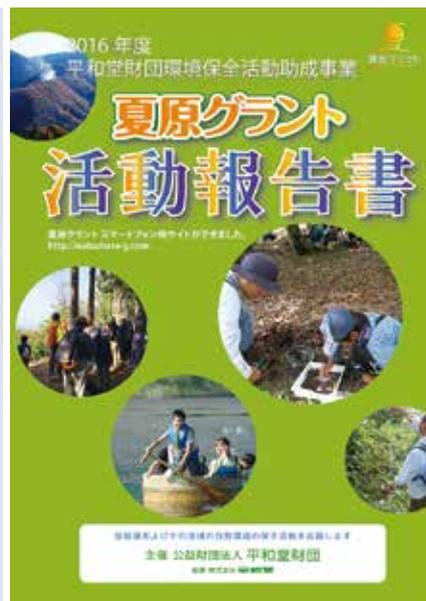


2012年度からの活動報告書

2年目事業の紹介



2012年度



2016年度



2018年度

夏原グラント活動報告書

2012年度から毎年、夏原グラントでは助成を受けた活動の報告書を作成しています。団体から画像と原稿を提供していただき、作成しています。

全年度ダウンロードが可能

夏原グラントサイトには、毎年 pdf データとして公開していますので、どれでもダウンロードしてご覧いただけます。

右の QR コードからアクセスできますので、どうぞご利用ください。(下方へスクロール)

助成金の応募状況と各年度の助成金総額

同じページの上の部分には、毎年の応募状況や助成総額なども表にしていますので、応募数、採択数もわかります。



野鳥の気持ちを知るプラットフォームづくり

山中比叡平里山倶楽部

活動場所 滋賀県大津市比叡平
設立年 2010年
会員数 20名
連絡先 担当：福田孝男 fktakao@mwa.biglobe.ne.jp
TEL:090-1025-5151 HP 

夏原グラントで実施した事業の紹介

私たちの活動も数年を経て、地域住民が自由に出入りするようになりました。それだけに、不用意に荒らされる場面も見られるようになってきました。住民参加の活動を通じて、自然と共生する考え方を広めていきたいと考えています。

環境や地域への貢献

地域の人々の体験活動への参加を求めることで、里山の楽しさを肌で感じていただいています。

2020年度は、コロナの影響で小学生の参加する活動が中止されました。自然の中の活動は、むしろ積極的に進めてもよいのではないかと考えています。学校側もその判断で再開したいとしているようです。



近江の苗木ニューブーム推進事業

～全国植樹祭を成功させよう～

滋賀県苗木ネットワーク

活動場所 滋賀県全域
所在地 滋賀県高島市朽木岩瀬 182
連絡先 080-1467-04198(金子)

夏原グラントで実施した事業の紹介

滋賀県苗木ネットワークは林業関係者等が集まり滋賀県産苗木の普及と全国植樹祭にむけてのイベント活動や獣害対策の課題を検証し、滋賀県林業の活性化を目的に活動しています。種の採取から始まった活動は、全国植樹祭にむけて、イベントの開催・獣害対策の検証・ドローンを活用した林内の点検など、夏原グラントの助成金のおかげでたくさんの課題と向き合い、滋賀県林業を活性化する有意義な活動を続けてこれたと感謝しています。

環境や地域への貢献

流通していない苗木用種子の採取をし、山に植える苗木の普及を行うことで、地域の環境活動に貢献してきました。獣害対策の低コスト化も検証し、点検の労力削減にドローンを活用し、コロナ対策として3密を回避する活動を実施しました。

助成金が活きたと思う点

全国植樹祭の応援・滋賀県全域でのイベント活動や獣害対策の労力削減など、資金なくてはできない活動です。大変ありがたい支援を頂きました。



「ヨシ群落・水郷・琵琶湖」の魅力を発信・案内するしくみづくり

ヨシネットワーク

活動場所 滋賀県近江八幡市円山町
所在地 滋賀県近江八幡市円山町
HP 

夏原グラントで実施した事業の紹介

コロナの影響で活動が制限される中、「何もしない」ではなく「何ができるか」模索し、秋には「水郷とヨシを楽しむ」イベント、冬に「ヨシ刈り体験」を実施しました。また、学生の協力を得て、動画を作成し、YouTube等で発信しました。

環境や地域への貢献

当初、活動を始めたときは、地域外の人々が中心になっていましたが、近年は地域内の熱心な人たちと一緒にしてお互いの利点を活かしながら、協力して、取り組めるようになってきました。

助成金が活きたと思う点

助成金のおかげで、イベント等を開催する資材の購入や参加者の水郷巡り乗船料の一部補助ができました。また、動画作成には、若い人の技術や感性が必要なことから、奈良教育大学の協力を得ることが必要となり、その制作謝礼や交通費に充てることができました。



耕作放棄棚田の再生と伊吹の薬草復活プロジェクト 伊吹くらしのやくそう倶楽部

活動場所 滋賀県米原市小泉 1 番地 コイズミ棚田
所在地 滋賀県米原市小泉 1 番地



夏原グラントで実施した事業の紹介

伊吹くらしのやくそう倶楽部は、米原市北部、伊吹山のふもとに広がる棚田にあります。2018 年度から夏原グラントの助成を頂き、2020 年度で 3 年目、最終年度になりました。3 年間にわたってたくさんのボランティアの方々に助けていただき、耕作放棄された棚田を開拓し、農地に戻してきました。

環境や地域への貢献

昨年春からは新型コロナの影響で滋賀県棚田ボランティアも休止となつて、大勢での開拓作業は難しくなりましたが、この 3 年間で約 2ha ほどを農地として復活することができました。棚田を継続させることが山・森・様々な動物や植物を守ることと、これまでも環境省の「モニタリングサイト里地 1000」で調査をしてきていますが、昨年からは二ホンミツバチの調査やイブキカリヤスの採集・栽培も開始、これからも環境を守る活動を自分たちなりにこつこつと、あきらめずにしていこうと思います。

助成金が活きたと思う点

開拓に必要な重機などがレンタルでき、助成金で運搬車を購入できたりしたので開拓がはかどりましたし、このような取組を理解し、応援して下さいということが、とても大きな励みになりました。3 年間、ありがとうございました。

遊休農地活用地場産材による甘味防災保存食事業 みんなの家 EH

活動場所 滋賀県米原市上板並
所在地 滋賀県米原市上板並 150-2



夏原グラントで実施した事業の紹介

中山間地の耕作放棄地を小豆畑に戻し、無農薬で化学肥料を使わずに小豆を栽培、有機自然食材で、甘味防災保存食のぜんざい「いざぜん」を製造販売。コミュニティビジネスを実践し、地域のマンパワーで農業環境を維持しようとするものです。

環境や地域への貢献

コロナ禍で地域グループの活動も大きく制約を受け、いくつかの事業を断念しました。それでも、小豆の栽培加工事業は、密を避けた作業を意識して、例年どおりに実施できました。収穫できた小豆で作った長期保存レトルトパックのぜんざいを地域拠点病院のコロナ対応医療従事者の方々に 100 パック寄贈させていただき、感謝とエールを送りました。米原市ふるさと納税返礼品に採用され、ささやかながら市の税収増加に貢献できました。道の駅での地域産品としての販売も好調です。

助成金が活きたと思う点

3 年間支援をいただいたことで、地域グループが取り組む事業の質的な向上が図れました。デザイナーによるパッケージの製作、表示シール印刷、新しい獣害対策の試行、農作業環境の改善等々です。

今後、後継者を早期に育成し、WEB での販売強化にも注力して事業を継続発展させていきます。

荒神山ファンクラブプロジェクト

荒神山ファンクラブ

活動場所 滋賀県彦根市
所在地 滋賀県彦根市石寺町 1263
連絡先 kojimt.fc@gmail.com,

夏原グラントで実施した事業の紹介

今年度は新型コロナウイルスの影響で、野外ではありますが検討していたイベントは中止し、「松茸復活プロジェクト」と称した荒神山の松茸を復活させるための里山整備事業に集中し、地域のゆるやかな居場所づくり、荒神山とのつながりの創出を行いました。

環境や地域への貢献

里山整備をしたことによる里山保全への貢献、荒神山の薪を石寺町の民家の薪ボイラーとして使用したことによる循環型のエネルギー消費に貢献しました。

助成金が活きたと思う点

里山整備にはチェーンソー、草刈機などの機械が必須なのですが、替え刃やオイル等機械の維持費を会費から捻出するのは困難なため、活用させていただきました。今年度は里山活動用の備品を中心に購入させていただき、非常に助かりました。ありがとうございました。



西の湖ヨシ灯り展

西の湖ヨシ灯り展実行委員会

活動場所 滋賀県近江八幡市安土町下豊浦地先 西の湖周辺
所在地 滋賀県近江八幡市土町下豊浦 4660
安土コミュニティセンター



夏原グラントで実施した事業の紹介

感染症対策に万全を期して、例年通りヨシ灯り展を開催することができました。当初は規模を縮小して近江八幡市内だけでの実施を考えましたが、出展を希望される方が多く、広い範囲の地域から308点もの作品が集まりました。また、学校独自でヨシ灯り展をしたいとの要望に応え、市内の小学校と高校、甲賀市の小学校に素材を提供し、スタッフも参加して小さなヨシ灯り展を開くことができました。

環境や地域への貢献

参加してくれた学校では、琵琶湖環境学習の取り組みを進め、スタッフも講師の一員として授業に参画し、その中で西の湖に生えるヨシを使ったヨシ灯りを制作するという流れができてきました。また、フローティングスクールの学習の中でも、西の湖のヨシを使った活動が取り入れられ、ヨシと水環境の学習が県下に広がることを期待しています。

助成金が活きたと思う点

厳しい社会情勢で、協賛金が例年になく少ない中、助成金のおかげで例年通りの安全対策を講じると共に、制作活動に係る消耗品も不足なく賄うことができました。

緑の手入れを通じての“高齢者支援対策”と“空き家対策” 志津南環境美化ボランティアの会

活動場所 滋賀県草津市志津南学区内
所在地 滋賀県草津市



夏原グラントで実施した事業の紹介

若草の町ができて37年、住民の高齢化(45%)に伴い、自分で庭木の手入れができない高齢者、また空き家も増加傾向にあり、町の景観悪化に繋がりがつたつありますが、本年度は高齢者宅26軒、空き家17軒の庭木の手入れを実施することができました。(2019年度実施軒数36軒)

環境や地域への貢献

町の景観が保たれ、不法投棄も減り、防犯防災対策にも繋がりと、安全安心な町の実現に繋がってきています。昨年「空き巣」が4件発生しましたが、何れも空き家の隣が狙われており、空き家対策は急務です。本年は空き巣の発生もなく、空き家対策について草津警察署から感謝の言葉を頂きました。荒れ果てた町並みは町全体の価値を下げてしまう要因にもなり、新しい入居者を拒む要因にもなりますが、新規入居者も増えつつあり、空き家の増加抑制にも繋がってきています。本年度は特に若い子育て世代の入居者もあり、久しぶりに町に子どもの声が聞かれるなど、町の活性化にも繋がってきています。

助成金が活きたと思う点

3年間にわたる助成金で用途別の軽量で使いやすい器具類を揃えさせていただき、安全に・気持ちよく・効率的に作業をすることができ大助かりでした。

里山の整備保全と地域との交流活動 特定非営利活動法人甲賀の環境・里山元気会

活動場所 滋賀県甲賀市水口町松尾松の本
所在地 滋賀県甲賀市水口町松尾 362-22
連絡先 TEL 090-6206-1515、44tyuf1518@ac-koka.jp(藤井)



夏原グラントで実施した事業の紹介

今年度はコロナ禍の中、春・夏は里山体験がすべて中止となってしまいましたが、夏原グラントの助成を受けた森の音楽会は、規模を縮小して無事に終了しました。今年度は第三回目となり、地元の自治団体の協力を得て楽しく開催でき、次年度もコロナ禍でも継続することになり、プロジェクトチームで内容を検討することになりました。また、秋のキノコ観察教室では『夢の学習』の団体とコラボを組んで実施。次年度も継続していくことになりました。コロナ禍でしたが、地元の方々となんとか交流ができてよかったと思います。

環境や地域への貢献

音楽会を開催したことにより、里山の存在や活動の内容が進みました。その結果、積極的な広報活動を中止したにもかかわらず、音楽会には近くの自治会等多くの参加者を得ました。また、他の環境団体やボーイスカウト等とのコラボも始まり、これらは継続してこそ効果があるため、一過性に終わることなく継続できるようにしていきたいです。

助成金が活きたと思う点

助成金により音楽会が継続して開催できる目処が立ち、地域の皆さんと共に交流できる機会ができました。ありがとうございました。

久多の山と遊ぶビーバーの会

自然住宅情報ひろば

活動場所 京都府京都市左京区久多自性寺谷
所在地 京都府京都市山科区四ノ宮大将車町 15
連絡先 beavernomori@gmail.com



夏原グラントで実施した事業の紹介

京都市左京区久多の長年放置されていた山の保全整備活動と宇治田原町の松茸山整備に伴う薪作りを行っています。また、毎年開催していた「木」に関する講演はコロナのため中止しました。屋外の活動も4・5月はすべて中止しました。久多では、台風による倒木の使い道としてウッドデッキの製作を主に、希少種の保護をしました。宇治田原では、松茸山の整備で伐った木を薪にすることで、バイオマスエネルギーの普及にも努めています。

環境や地域への貢献

風倒木の使い道としてウッドデッキを製作中ですが、地域の方の理解と協力によって立木伐採や山からの運び出しなど、山作業の体験をさせていただきました。また、希少種の保護（大雨等で流される可能性が高い種を安全な場所に移植）たくさんの花が咲き株も増え、環境保護に貢献できたと思います。

助成金が活きたと思う点

倒木処理作業を地元の林家家の方をお願いすることが助成金によってでき、活動内容が充実しました。また、これまでの10年という活動の中で覚えた植物の名前や花の開花時期などをまとめた植生マップや写真集も完成しました。観察会を引き続き開催いく中でこれらを教材として活かし、たくさんの方に山に興味をもっていただきたいと思います。

鹿背山おやこの森の kichi

特定非営利活動法人こそだてママ net

活動場所 京都府木津川市
所在地 京都府木津川市山城町平尾西方儀 38
連絡先 kmamanet@gmail.com



夏原グラントで実施した事業の紹介

鹿背山おやこの森の kichi 事業は京都府木津川市周辺の親子を対象とした自然体験活動です。活動地は地元の整備団体さんが10年ほどかけて整備された整備地を活用させていただいています。プレクラスは未就園児の親子、ファミリークラスは年中以上の親子が対象です。毎月1度、午前は団体さんのサポートのもと整備活動をし、昼食後は整備地で子どもたちが思い思いに過ごします。その間、保護者はティータイムの時間をもって団体さんや保護者同志で交流の時間を持ちます。

環境や地域への貢献

この活動の目的の一つでもあった高齢化した整備団体の後継者育成についても、結果が残せました。この活動を通して関わってくださった各整備団体さんに一組以上のご家族が新たに入会されました。1年に5家族が入会された団体もあります。

助成金が活きたと思う点

これは、3年間の継続的なご支援があったからこそ、私たち主催団体も段階的な活動目標を掲げ、スタッフの育成や活動の継続ができました。まさに継続的な助成金が人材育成に役立った、と実感しています。

里山の保全 地域のコミュニティづくり

重利の山を守る会

活動場所 京都府亀岡市曾我部町重利山ノ下
所在地 京都府亀岡市曾我部町重利山ノ下 21-8
連絡先 090-3677-1229, kiyosumi@zeus.eonet.ne.jp



夏原グラントで実施した事業の紹介

本年より「重利の山を守る会」に近隣の先端科学大学の学生がボランティア活動として参加してくるようになりました。コロナ禍ではありませんが、私たちの活動は外が基本で【親と子の木工教室】【渋谷菜津子チェンソーアート】【森のコンサート】と、3つのイベントも時期を遅らせ開催することができました。

環境や地域への貢献

伐採を含む山の整備もコロナの状況を見ながら定期的に行うことができました。学生がボランティア活動として参加してくれるようになり、山の会に活気が出てきました。イベントにも積極的に参加してくれ各イベントの動画制作、企画等新しい提案をしてくれ、会員と楽しく事業を進めています。今後、学生と共に地域の交流の場所づくりをしていく予定です。

助成金が活きたと思う点

イベントの出演料、木工講師の謝金、チラシの制作等継続して開催できました。山の会でのチェンソー、製材道具等山の備品として必要な機材を購入することができました。

野生傷病鳥獣の救護追跡事業

放鳥's

活動場所 滋賀県高島市中心に全域
所在地 滋賀県高島市
連絡先 滋賀県高島市安曇川町青柳 2032-67
houchoooooz@gmail.com
  



夏原グラントで実施した事業の紹介

例年通りの傷病鳥へのリハビリテーションおよび野生復帰後の発信機を用いた追跡を実施したほか、初の大規模勉強会（講演会）を実施しました。

環境や地域への貢献

今年度より本格的に滋賀県全域の傷病鳥獣二次治療（リハビリ）を請け負いました。これまで救護ドクター治療後にリハビリをせずに放野していた個体や、放野できる状態にすることのできなかった個体のケアができるようになり、放野率および生存率の向上に寄与できたのではないかと思います。

助成金が活きたと思う点

今年度は通常通りの発信機を用いた追跡調査の他、法律専門家を招聘し、琵琶湖博物館との共催で、初のオンライン講演会を実施しました。コロナ禍での開催ということで、急遽会場からオンラインのみへ変更となりましたが、場所を選ばないオンラインの強み、全国各地から約70名の方にご参加いただき、傷病鳥獣救護に関する法規について、知識を深めることができたと共に、当団体の周知にも役立てることができました。

Re 梵（リボン）大作戦 ～梵釈寺から始まる里山の再生～

特定非営利活動法人 里山保全活動団体 遊林会

活動場所 滋賀県東近江市
所在地 滋賀県東近江市建部北町 531
河辺いきものの森ネイチャーセンター
連絡先 0748-20-5211、ikimono@e-omi.ne.jp
 



夏原グラントで実施した事業の紹介

東近江市内の里山を守る活動をしたいと思っていた当会と自分達の方では整備ができず困っていた梵釈寺の思いが重なり、夏原グラントの助成を受けて始まった保全活動でした。ご住職と檀家さん、当会のボランティアメンバーとで月に一度、6年間活動してきました。「困っている人の力になりたい」との思いで続けてきた活動でしたが、助成金は活動を継続させるために大変なサポートでした。

環境や地域への貢献

梵釈寺に生息する動植物では、滋賀県の希少種が発見されたり、分布が広がったり、こつこつと積み重ねてきた活動成果が多く見られています。また、人の手が入らず荒れた裏山は、すっかり気持ちのよい里山に蘇っています。現在は人々が自然に親しみ、また人と人がつながるコミュニティの場所としての活用が始まっています。

助成金が活きたと思う点

どうやって取り組めばいいのかわからなかった事業が、人の思いと行動と助成金のお陰でこんなに素晴らしい成果となって返ってくるものなのだ、当会にとっても多くのことを経験し、成長させていただいた事業でした。

ロゴマークとリンクバナー



夏原グラントのロゴマークです。「夏」の文字をデザインし、オレンジ色で元気を表現しています。採択された事業のチラシや購入品にはこれを表示していただいています。



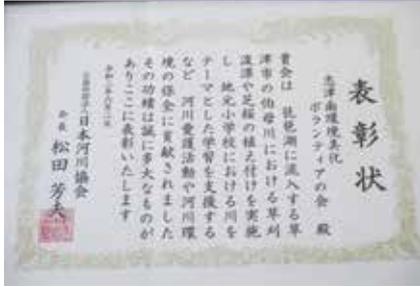
採択団体には夏原グラントサイトへのリンクをお願いしています。その時使っていただくリンクバナーです。

表彰された団体の紹介

採択事業団体の中で2020年度に表彰されたことがあるかどうかを尋ね、回答があった団体の紹介をします。2021年度も皆様のますますのご活躍を期待します。

(1) 受賞年月 (2) 主催団体名 (3) 評価された点

NPO志津南環境美化ボランティアの会



表彰状

- (1) 2020年6月2日
 (2) 公益社団法人 日本河川協会
 (3) 2013年以來の活動で、琵琶湖に流入する草津市の伯母川流域で草刈り、浚渫や芝桜の植え付けの実施、地元小学校の河川をテーマとした学習支援など、河川愛護活動や河川環境保全に貢献した点が評価されました。

特定非営利活動法人 こそだてママ net



京都府子育て支援団体認証制度
認証団体 13号

- (1) 2020年8月
 (2) 京都府 健康福祉部 ども・青少年総合対策室 母子健康係 (きょうと子育てピアサポートセンター)
 (3) 子育て支援団体同士のマッチングや、これから子育て支援団体を立ち上げようとする方々の支援活動等の実績が認められ、京都府より表彰と認定団体としての認可を受けました。

一般社団法人 京都竹カフェ



京都環境賞 (佳作)

- (1) 2021年1月7日
 (2) 京都市
 (3) コロナ禍でも環境保全啓発活動を継続している点を評価されたと思います。

「コロナ禍での環境保全啓発活動」
<https://www.city.kyoto.lg.jp/kankyo/page/0000279219.html>

表紙・裏表紙の写真の説明

本報告書では、助成団体の皆さんから届いた画像を中心に、表紙と裏表紙にも掲載しています。詳しい活動内容は本文をご覧ください。

■表紙

| | | |
|---|---|---|
| ① | ② | ③ |
| ④ | ⑤ | ⑥ |

■裏表紙

| | | |
|---|---|---|
| ⑦ | ⑧ | ⑨ |
| ⑩ | ⑪ | ⑫ |

- ① 横山森林公園の活性化／横山はらっぱ倶楽部 P.6
 ② 京都・滋賀でのコミュニティファームの設立／
 滝美土里ファーム・コミュニティファーム実行委員会 P.8
 ③ 広げよう！森林環境学習活動／フィールドソサイエティ P.9
 ④ 八島ふれあいの森づくり (世代をつなぐ里山の保全管理活動) / 八島里山づくり委員会 P.6
 ⑤ 希少種の保全 ヤマトサンショウウオの生息環境保全／
 特定非営利活動法人亀岡人と自然のネットワーク P.9
 ⑥ みんなで創る走井 (はしり) の里／明日の走井を考える会 P.7
 ⑦ 子供向けの自然学習及び、生物調査／Tread P.6
 ⑧ 道普請ツアーと東屋づくり／上宮津・杉山エコガイドの会 P.8
 ⑨ 草津市志津南学区地区内調整池等の雑草地整備／志津南『芝桜プロジェクト』 P.7
 ⑩ 大津市内小学校の緑化・美化活動／滋賀県レイカディア大学同窓会 大津支部 P.8
 ⑪ 滋賀県のオオサンショウウオに関する調査・研究／滋賀のオオサンショウウオを守る会 P.13
 ⑫ 子ども自然観察会／桂坂野鳥遊園子ども自然観察会 P.9

2020年度の事業を振り返って

2020年度は新型コロナウイルス感染症の影響を受けての始まりでした。3月に開催した選考会では、例年の公開プレゼンテーションを参加数を限定して開催しました。4月18日に予定していた贈呈式は、残念ながら中止という決断になりました。贈呈式は交流会も兼ねていたことから交流の機会をつくることができませんでした。

5月には、助成を受けている団体の皆さんに、コロナ感染症で困っていることはないかとメールで問い合わせを行い、事業内容の変更などへの対応をアドバイスしました。

選考委員を講師として毎年開催している「市民環境講座」は、2ヶ月繰り下げ8月8日と9月6日に開催しました。コロナ感染拡大防止のために、オンライン併用での開催としました。

11月から12月にかけて実施している次年度助成金の説明会、相談会は、例年、滋賀と京都の複数会場で実施していますが、2020年度も会場での実施も行いながら、オンラインでの相談対応もしました。

これからの相談やヒアリングにオンラインでの実施は可能性を感じました。

事務局

画像による事業の紹介

虎御前山の里山保全・整備活動

(P 11)



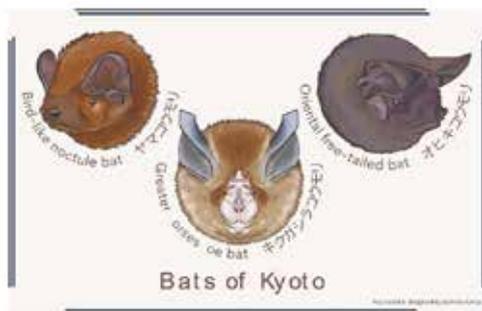
西の湖ヨシ灯り展

(P 17)



希少コウモリの生態調査―保護と生物多様性維持に向かっ

(P 10)



梵（リボン）大作戦
梵積寺から始まる里山の再生

(P 19)



放置竹林問題対策活動団体の連携と教化によるパワーアップ

(P 10)

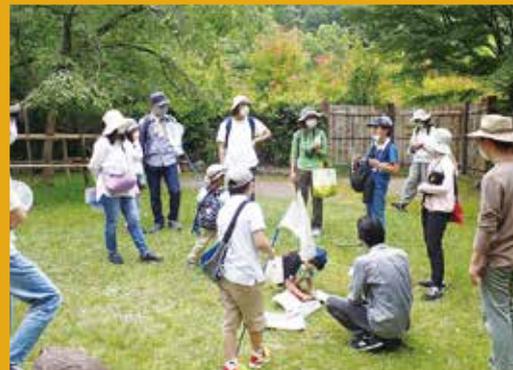


「ヨシ群落・水郷・琵琶湖」の魅力を発信・案内するしくみづくり

(P 15)



画像による事業の紹介
2020年度の事業を振り返って



主催

公益財団法人 平和堂財団
〒522-8511 滋賀県彦根市西今町1番地
(株)平和堂本部内

TEL : 0749-23-4575 FAX : 0749-27-4180
<https://heiwado-z.jp/>



運営事務局

認定特定非営利活動法人 しがNPOセンター
〒523-0893 滋賀県近江八幡市桜宮町207-3
K&Sビル3F

TEL&FAX : 0748-34-3033
shiga.npo@gmail.com
<https://shiganpo.wixsite.com/website-1>



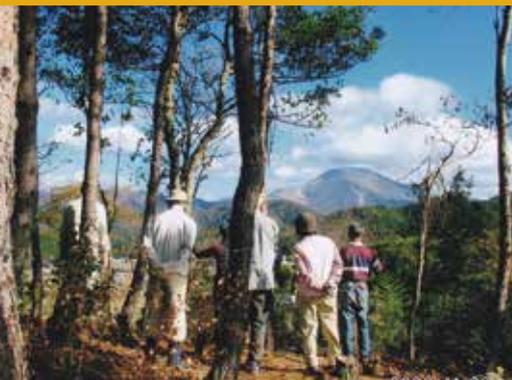
この紙は「びわ湖の森を元気にする」kikitoペーパーを使用しています。

夏原グラント



活動報告書

2020 年度



琵琶湖およびその流域の自然環境の保全活動を応援します

主催 公益財団法人  **平和堂財団**

協賛 株式会社 **平和堂**

ごあいさつ

公益財団法人平和堂財団は、教育・文化・体育・環境・児童福祉の5分野で助成活動を行っています。琵琶湖を抱える滋賀県に生まれた法人として環境分野には重点的に取り組んでおり、その中でも環境保全活動助成事業「夏原グラント」は、環境保全活動に対する中心となる助成事業です。

2012年度から始まり2020年度で延432団体に助成を受けていただくことができました。これもひとえに夏原グラントの趣旨に賛同し、積極的なご応募をいただいた団体の皆さんのおかげです。

2020年度は、新型コロナウイルス感染症による社会への影響が大きく、夏原グラントの贈呈式を中止させていただきました。助成を受けていただいている団体の皆さんの交流を深めていただく機会をつくれなかったことを残念に思っております。

コロナ禍の中で活動内容を変更されたり、活動の休止を余儀なくされたりした団体も一部ありましたが、多くの団体が熱心に活動に取り組んでいただきました。

この度、2020年度の助成を受けていただいた団体の活動報告をとりまとめた「平和堂財団環境保全活動助成事業 夏原グラント活動報告書」が完成しました。滋賀県内・京都府内の環境に関する多様な活動について、本冊子で紹介していますので、ご高覧いただければ幸いです。

公益財団法人 平和堂財団
理事長 夏原 平和



目次

| | |
|--------------------------------|--------|
| 助成金の概要、選考基準、スケジュール | 1P |
| 選考委員、応募・採択事業数、説明会と事前相談会、公式サイト | 2P |
| 夏原グラントの特徴、市民環境講座 | 3P |
| 2020年度助成事業紹介・団体一覧表 | 4～5P |
| 事業報告 1年目 14団体 | 6～10P |
| コラム：募集要項はダウンロード可能 | 10P |
| 事業報告 2年目 10団体 | 11～14P |
| コラム：2012年度からの活動報告書 | 14P |
| 事業報告 3年目 12団体 | 15～18P |
| 事業報告 ステップアップ 2団体 | 19P |
| コラム：ロゴマークとリンクバナーの紹介 | 19P |
| 表彰された団体の紹介、表紙・裏表紙の写真の説明 | 20P |
| コラム：2020年度の事業を振り返って・画像による事業の紹介 | 21P |

助成金の概要

●名称

平和堂財団環境保全活動助成事業 「夏原グラント」

※グラント「grant」＝助成金

●対象となる事業

この助成金の対象は、主に琵琶湖およびその流域の環境保全活動で、滋賀県内・京都府内で実施される河川や湖等の水質保全、森林・里山保全、水源の森保全、生物多様性維持等の事業です。生活に身近な課題の解決に資する事業や、環境活動を軸に地域でのしくみやつながりを生み出すことを目的とした事業についても対象となります。具体的には、次に示すような種類および形態の活動です。

●活動の種類

- (1) 河川・湖沼などの自然環境の保護・保全活動
- (2) 森林の育成保全により、森林の多面的な機能を発揮・維持するための活動や林産物の活用を創出する活動
- (3) 里地里山の生物多様性を保全・創出するための活動や森・里・川の繋がりを再生する活動
- (4) 絶滅危惧種・稀少種に指定されている野生動物植物の保護・保全や生物多様性維持の活動
- (5) 地球温暖化・廃棄物減量などの課題を生活の中から考え、解決に向かう糸口を見つける活動
- (6) 市民が主体となって企画し、継続して行っている緑化活動や清掃活動

●活動の形態

- (1) 実践活動
- (2) 教育啓発・人材育成活動
- (3) 調査研究活動（実践活動に結びつくものが対象で、学術的な研究活動は対象外）

●一般助成金の対象となる団体

事務所を滋賀県内・京都府内に有するか、滋賀県内・京都府内で環境保全活動に取り組んでいるNPO法人、市民活動団体または学生団体

●ファーストステップ助成金の対象となる団体

- (1) 立ち上げ支援
これを機に活動を始めようとする団体
- (2) 小規模事業の支援
今まで比較的小規模事業を継続してきた団体
※採択となった団体はファーストステップ助成終了後、夏原グラント一般助成への応募が要件

●助成金の額

- (1) 一般助成
 - ①NPO法人、市民活動団体
1件あたり上限 50万円
 - ②学生団体
1件あたり上限 30万円
- (2) ファーストステップ助成
1件あたり上限 10万円



2020年度 募集要項

選考基準

- (1) 滋賀県内・京都府内の環境保全や地域創造に寄与すると認められること。
- (2) 他の団体のモデルとなるような先進的なテーマ設定や事業展開が期待されること。
- (3) 県民・府民の自主的な環境保全活動につながる波及効果が期待されるなど、成果が広く市民に還元されること。
- (4) 適切かつ効果的な事業手法がとられていること。

スケジュール

| | | |
|-------|--------------------|--------------------|
| 2019年 | 11月26日 | 説明会・事前相談会の開始 |
| | 12月2日 | 募集開始 |
| 2020年 | 1月31日 | 募集締め切り |
| | 2月25日 | 1年目1次選考会 |
| | 3月15日 | 2年目選考会・プレゼンテーション |
| | 3月20日 | 1年目2次選考会・プレゼンテーション |
| | 4月18日 | 贈呈式中止 |
| | 4月1日から2021年3月31日まで | 助成金事業実施期間 |

選考委員

| | |
|--------|-------------------------|
| 仁連 孝昭 | 滋賀県立大学 名誉教授 |
| 内田 香奈 | きょうとNPOセンター 副統括責任者 |
| 西野 麻知子 | 元びわこ成蹊スポーツ大学 教授 |
| 脇田 健一 | 龍谷大学 教授 |
| 辻村 琴美 | コミュニティ・アーキテクトネットワーク 理事長 |

(敬称略・順不同・2020年度選考当時)

応募・採択事業数

| | | |
|---------------------|------|-------------|
| 1年目事業応募数 | 22事業 | うち採択 14事業 |
| 2・3年目事業応募数 | 22事業 | うち採択 22事業 |
| ステップアップ応募数(1・2年目) | 7事業 | うち採択 2事業 |
| ファーストステップ応募数(1・2年目) | 24事業 | うち採択 22事業 |
| 助成総額 | | 14,880,000円 |

説明会と事前相談会

「夏原グラント」への応募を考えている団体のみなさまを対象に、説明会と事前相談会を同日開催しました。説明会では応募に関する説明の後、質問にお答えし、終了後は個別の相談に対応しました。会場では参加者から、応募書類の書き方、アピールできる事業企画書の書き方のポイント、予算書の書き方、公開プレゼンテーションのコツなどについての質問がありました。これらの相談には、夏原グラントの運営を担っているしがNPOセンターのスタッフがあたりました。

●開催日(すべて2019年)

| | | |
|-----------|---------------|---------|
| 11月26日(火) | 草津市立まちづくりセンター | (草津市) |
| 12月1日(日) | アクティ近江八幡 | (近江八幡市) |
| 12月2日(月) | ひと・まち交流館 京都 | (京都市) |
| 12月7日(土) | ハッシュタグ大津京 | (大津市) |
| 12月8日(日) | ガレリア亀岡 | (亀岡市) |

公式サイト

●夏原グラント公式サイト

<http://www.natsuhara-g.com/>

夏原グラントの概要や助成の実績など、詳しく掲載しています。

応募前や、事業実施中のQ&Aも掲載するなど、応募前から終了後までいねいな対応を心がけています。募集要項、申請書類、採択団体となつてから使用していただくロゴマークなどがダウンロードできます。

プロジェクト活動レポートのコーナーでは、事務局スタッフが活動の現場取材し、豊富な写真とともに紹介しています。

2020年度分からキーワード検索も可能になりました。ぜひ、アクセスしてください。スマートフォンでもご覧いただけます。



夏原グラントの特徴

夏原グラントは、単なる助成金だけの支援ではありません。

(1) 学びの場の提供

毎年、市民環境講座を開催し、助成先の団体だけでなく環境保全に興味のある方にも参加していただいています。講師は夏原グラント選考委員で、内容は環境保全の基礎や最新の知識、組織運営に関するワークショップなどです。講座を受講することで活動や組織のブラッシュアップをしていただくのが目的です。

(2) 交流機会の提供

各団体が他の地域や違う分野の活動について情報交換を行う機会を提供することにより、ネットワークを広げていただけます。

(3) 事務局サポート

しがNPOセンターの強みを活かして、事業実施中の団体からのさまざまな相談を受け、アドバイスを行っています。また、現地を訪問し、取材して「活動レポート」をサイトに公開することで、事業や団体の情報発信を行っています。

市民環境講座

この講座は助成団体だけでなく、保全活動に取り組んでいる団体やこれから取り組んでいこうとする方を対象に、オープン開催としています。夏原グラント選考委員のお二人にお話をいただきました。

●第1回 8月8日(土)

「環境保全活動で気をつけたいポイント」

講師：西野麻知子さん

(元びわこ成蹊スポーツ大学 教授)

種の多様性や貴重生物などについて具体的な事例をスライドで紹介。ゲンジボタル、ハリヨ、ヒガンバナなど、身近な事例も多く、質疑応答は生物多様性保全の視点から活発な時間となりました。コロナ感染対策として、会場だけでなく、初のオンライン（zoom）参加も選択可能としました。

●第2回 9月6日(日)

「効果的な活動のための団体運営のヒント」

講師：内田 香奈さん

(NPO 法人きょうとNPOセンター副統括責任者)

事業が拡大しても団体の組織基盤が脆弱だと、どこかで無理がくる。ということで、各団体のビジョン、ミッション、事業の確認作業を行いました。会場だけでなく、オンライン参加者同士もグループとなり、意見交換を行いました。最後は、コロナ時代の市民活動についてのお話で締めくくられました。



2020 年度採択事業紹介

2020 年度に夏原グラントの一般助成とステップアップ助成を受けた団体の活動をご紹介します。「夏原グラントで実施した事業の紹介」「環境や地域への貢献」「助成金が活きたと思う点」の3つについてお聞きしました。

1 年目 14 事業、2 年目 10 事業、3 年目 12 事業、ステップアップ(1 年目と 2 年目)2 事業の計 38 事業を掲載しています。



2020 年度助成事業・団体一覧

1 年目 14 事業

※右端の「P」欄は掲載ページ

| 地域 | 事業名 | 団体名 | P |
|----|------------------------------|-----------------------------|----|
| 滋賀 | 八島ふれあいの森づくり（世代をつなぐ里山の保全管理活動） | 八島里山づくり委員会 | 6 |
| 滋賀 | 横山森林公園の活性化 | 横山はらっぱ倶楽部 | 6 |
| 滋賀 | 子供向けの自然学習及び、生物調査 | Tread（学生団体） | 6 |
| 滋賀 | みんなで創る走井（はしり）の里 | 明日の走井を考える会 | 7 |
| 滋賀 | 草津市志津南学区地区内調整池等の雑草地整備 | 志津南『芝桜プロジェクト』 | 7 |
| 滋賀 | 棚田・里山・古代米・鮎プロジェクト | 棚田・里山・古代米・鮎プロジェクト | 7 |
| 滋賀 | 大津市内小学校の緑化・美化活動 | 滋賀県レイカディア大学同窓会 大津支部 | 8 |
| 滋賀 | 京都・滋賀でのコミュニティファームの設立 | 美土里ファーム・ コミュニティファーム実行委員会 | 8 |
| 京都 | 道普請ツアーと東屋づくり | 上宮津・杉山エコガイドの会 | 8 |
| 京都 | 希少種の保全 ヤマトサンショウウオの生息環境保全 | 特定非営利活動法人 亀岡人と自然のネットワーク | 9 |
| 京都 | 子ども自然観察会 | 桂坂野鳥遊園子ども自然観察会 | 9 |
| 京都 | 広げよう！森林環境学習活動 | フィールドソサイエティ | 9 |
| 京都 | 放置竹林問題対策活動団体の連携と教化によるパワーアップ | 一般社団法人 京都竹カフェ | 10 |
| 京都 | 希少コウモリの生態調査—保護と生物多様性維持に向けて | 島コウモリ調査グループ | 10 |

2 年目 10 事業

| 地域 | 事業名 | 団体名 | P |
|----|---------------------------------------|--------------------------|----|
| 滋賀 | 彼岸花の復活による堤防環境保全と地域づくり | 徳山環境保全会 | 11 |
| 滋賀 | 虎御前山の里山保全・整備活動 | 虎御前山古墳と中世城郭保全顕彰会 | 11 |
| 滋賀 | 八幡山城 豊臣秀次家臣団屋敷跡の竹林整備と 市民が親しめる環境づくり | 一般社団法人 秀次家臣団屋敷跡竹林を守る会 | 11 |

| 地域 | 事業名 | 団体名 | P |
|----|--------------------------------------|----------------------|----|
| 滋賀 | 猪子山・地獄越え山道整備事業 | 猪子山・地獄越え周辺の山道を良くする会 | 12 |
| 滋賀 | 滝区ササユリの咲きほこる里づくり | 滝区ササユリの里づくり委員会 | 12 |
| 滋賀 | 都市公園で育むナチュラル・ガーデンと ナチュラル・キンダーガーデン | ボランティアグループ：森の風音 | 12 |
| 滋賀 | 滋賀県のオオサンショウウオに関する調査・研究 | 滋賀のオオサンショウウオを守る会 | 13 |
| 京都 | 2020年度桑木クヌギ植え付け事業 | 特定非営利活動法人 京都桑田村 | 13 |
| 京都 | 中世木の里山・棚田を守るプロジェクト | 中世木ビジョン委員会 | 13 |
| 京都 | 放置竹林整備事業 | 特定非営利活動法人 八幡たけくらぶ | 14 |

3年目 12事業

| 地域 | 事業名 | 団体名 | P |
|----|--------------------------------|--------------------------|----|
| 滋賀 | 野鳥の気持ちを知るプラットフォームづくり | 山中比叡平里山倶楽部 | 15 |
| 滋賀 | 近江の苗木ニューブーム推進事業～全国植樹祭を成功させよう～ | 滋賀県苗木ネットワーク | 15 |
| 滋賀 | 「ヨシ群落・水郷・琵琶湖」の魅力を発信・案内するしくみづくり | ヨシネットワーク | 15 |
| 滋賀 | 耕作放棄棚田の再生と伊吹の薬草復活プロジェクト | 伊吹くらしのやくそう倶楽部 | 16 |
| 滋賀 | 遊休農地活用産材による甘味防災保存食事業 | みんなの家 EH | 16 |
| 滋賀 | 荒神山ファンクラブプロジェクト | 荒神山ファンクラブ | 16 |
| 滋賀 | 西の湖ヨシ灯り展 | 西の湖ヨシ灯り展実行委員会 | 17 |
| 滋賀 | 緑の手入れを通じての“高齢者支援対策”と“空き家対策” | 志津南環境美化ボランティアの会 | 17 |
| 滋賀 | 里山の整備保全と地域との交流活動 | 特定非営利活動法人 甲賀の環境・里山元気会 | 17 |
| 京都 | 久多の山と遊ぶビーバーの会 | 自然住宅情報ひろば | 18 |
| 京都 | 鹿背山おやこの森の kichi | 特定非営利活動法人 こそだてママ net | 18 |
| 京都 | 里山の保全 地域のコミュニティづくり | 重利の山を守る会 | 18 |

ステップアップ1年目 1事業

| 地域 | 事業名 | 団体名 | P |
|----|---------------|------|----|
| 滋賀 | 野性傷病鳥獣の救護追跡事業 | 放鳥's | 19 |

ステップアップ2年目 1事業

| 地域 | 事業名 | 団体名 | P |
|----|------------------------------|---------------------------|----|
| 滋賀 | Re 梵(リボン)大作戦 ～梵釈寺から始まる里山の再生～ | 特定非営利活動法人 里山保全活動団体 遊林会 | 19 |

八島ふれあいの森づくり (世代をつなぐ里山の保管理活動) 八島里山づくり委員会

活動場所 滋賀県長浜市八島町
所在地 滋賀県長浜市八島町

夏原グラントで実施した事業の紹介

獣害防止のために、防止柵周辺の緩衝帯のための除伐・除草に取り組むとともに、雑草木(目的種以外)の刈払いや風倒木・枯損木の除去・処理を行い、見晴らしのよい里山保全に努めました。

作業道や遊歩道などの補修、駐車場の整備に取り組み、住民が里山とふれあいやすい環境整備に努めました。

環境や地域への貢献

里山の保管理活動に取り組むことにより、里山の荒廃を防ぎ、獣害対策としての効果を発揮できました。

また、長年の懸案でありました荒廃地を切り開き、駐車場を一部整備できました。

さらに、地域の子供たちや保護者と椎茸の菌打ち体験に取り組むこともできました。

森林資源を利用した椎茸栽培に取り組み、地域の全所帯に椎茸を配ることができました。

助成金が活きたと思う点

多くの住民から要望があり、長年の課題となっていました国道365号線沿いの荒廃地を切り開き、駐車場として一部整備できて景観が非常によくなり、住民から高く評価されました。



横山森林公園の活性化

横山はらっぱ倶楽部

活動場所 滋賀県長浜市横山森林公園
所在地 滋賀県長浜市名越町

夏原グラントで実施した事業の紹介

横山森林公園の一面をなす四面山は、進行する枯れで荒廃しており、その復元に着手しました。枯松の処理、雑木の間伐が進み、特に見晴台が甦りました。一方、松に代わる樹木の苗木づくり、及び植樹も始めました。また、横山丘陵の魅力発信する冊子の増刷を行い、市民に提供しています。

環境や地域への貢献

進行する枯松の都度処理を実施し、環境保全・景観の改善に寄与していると思います。

見晴台から伊吹山、琵琶湖を眺望できるビューポイントは訪れるハイカーの憩いのエリアと期待されます。

今年度は新型コロナウイルスの問題もあり、地域住民参加の各種イベントは、残念ながら開催できませんでした。

助成金が活きたと思う点

助成金をいただき永年の懸案だったチェーンソー及び装備の補充、メンテナンスができ、作業能率の向上が図れました。樹木の苗木購入で、枯木に代わる植樹も促進されつつあり、従来の単なる里山の復元から里山の活性化に重点が移行しました。私たちの活動自体の活性化とレベルアップにも寄与していると思います。



子供向けの自然学習及び、生物調査

Tread

活動場所 滋賀県 日野町 鎌掛地域
所在地 滋賀県甲賀市
連絡先 滋賀県甲賀市土山町黒川2063

夏原グラントで実施した事業の紹介

私たちは、滋賀県日野町鎌掛地区をフィールドに、地域の環境や文化に焦点をあてて活動をしています。主に地域の川の水質調査や生息する生き物について調べたり、地域の人に昔と今の鎌掛地域の環境について聞き取り調査を行ったりしています。そして調べたことを可視化する媒体として、紙芝居やかかるたを制作し地域内外の人にわかりやすく伝える活動をしています。

環境や地域への貢献

活動を始めて4年目になりますが、私たちの活動は、地域の人々と一緒に活動することを大切にしています。地域の方から、最近では地域の子供たちも私たちが作ったかるたで遊んで、鎌掛地域のことについて学んでくれていると聞いています。

助成金が活きたと思う点

私たちの活動は調べたことのまとめとして、毎年媒体を制作しています。今年のはかるたを制作し、紙代や印刷代など、自己資金だけでは賅うことができなかったのですが、夏原グラント助成金に費用面で大変助けをいただきました。



みんなで創る走井（はしり）の里

明日の走井を考える会

活動場所 滋賀県栗東市荒張走井地先
所在地 滋賀県栗東市荒張 556
連絡先 090-2705-6368 小林

夏原グラントで実施した事業の紹介

我々の活動は、過疎化が進み存続の危機に瀕した地域の自然を守り、活性化させ、地域を守ることです。そのために地域に通じる道路約800mの両脇に紫陽花を植えています。年4回の手入れと1回の植樹を行い、150本拡張しました。他にイベント広場をつくり、草刈や整備を行っています。

また、放棄された圃場を復活させ、田植えと稲刈りの体験を行い、獲れた米を収穫祭で釜で炊いて、試食したり、お土産にもしました。

環境や地域への貢献

中山間地なので自然は多くありますが、放置状態でした。道路脇に紫陽花を植えるために草や林を刈っているので整備されます。体験農場も隣接しており、綺麗な状態になりました。毎日通る道であり晴々します。通学路にもなっていますので、子供の心や安全面でもよい影響を与えています。

助成金が活きたと思う点

何をやるにも資金が必要です。この事業をやるために、年間10回程の出役をお願いしております。活動は手弁当でお願いしていますが、保険代や物品費のために金銭をいただくのは嬉しいです。助成金があるので実施できています。



草津市志津南学区地区内調整池等の雑草地整備 志津南『芝桜プロジェクト』

活動場所 滋賀県草津市若草及び岡本西地区
所在地 滋賀県草津市若草 5-10
志津南まちづくりセンター内



夏原グラントで実施した事業の紹介

志津南地区内の雑草地を、グランドカバーとして定評のある芝桜で変容させて、地域の環境美化に貢献することを目的として活動しています。

ファーストステップ助成を含む3年間で、地域内にある防災調整池を皮切りに、まちづくりセンター、滋賀銀行出張所、志津南小学校等に、約2000本の芝桜苗を植え付けることができました。

環境や地域への貢献

地域の美観向上に少なからず貢献してきているとの実感が徐々に湧いてきています。地域内にある志津南小学校や銀行からも芝桜植え付け要請を受ける等、周りの人からの暖かい励ましや援助、労いの言葉等々とても有難く感じています。

助成金が活きたと思う点

3年前にファーストステップ助成に採択され、助成金をいただけることになりましたが、それがキッカケとなり芝桜植栽事業を本格的に進めることができるようになりました。高齢のボランティア仲間の親睦を進めながら、楽しく作業を行っています。有難うございます。



棚田・里山・古代米・鮎プロジェクト 棚田・里山・古代米・鮎プロジェクト

活動場所 滋賀県大津市真野谷口町 県営春日山公園 地先
所在地 滋賀県大津市浜大津四丁目1番1号
明日都浜大津1F 市民活動センター内
連絡先 tanada.kodaimai@gmail.com、

夏原グラントで実施した事業の紹介

棚田は希少な植物、鳥類、昆虫など里山を棲家とする多くの生き物が生息しています。この棚田・里山をうまく管理しつつ、景観と生き物の成育の保全、環境学習や活動の場として学童や団体に開放しています。田植体験などのイベントや日常活動を通して自然の豊さに気づき、この活動に参加する方も増えています。

環境や地域への貢献

「稲刈と稲木ほし体験」、「収穫祭」、自然観察会などに多くの家族が参加しました。また、多くの団体がこの活動に賛同し、棚田とその周辺の里山保全活動や古代米（黒米玄米）の販売と広報活動にご協力いただきました。収穫した古代米（黒米玄米）は大津市ふるさと納税の返礼品に採用され、安定した活動資金の一部となっています。

助成金が活きたと思う点

夏原グラント助成金事業ということが団体の信用を高めました。メンバーには「楽しく、やりがい」のある活動のために活動旅費の一部の支給や老朽化した設備・備品の修繕や補充などに資することができました。



大津市内小学校の緑化・美化活動 滋賀県レイカディア大学同窓会 大津支部

活動場所 滋賀県大津市立小学校、幼稚園等
所在地 滋賀県大津市
連絡先 520-0226 滋賀県大津市陽明町 12-9
T:090-7115-7012



夏原グラントで実施した事業の紹介

大津市内の27小学校と2幼稚園、1児童クラブを訪問して、校庭と園内の樹木剪定刈込と花壇整備等の環境美化活動を行いました。

環境や地域への貢献

小学校校庭の樹木剪定や刈込を行ったことで、校門等から見える校内樹木の整備の行き届いた状況がわかるようになったのと、児童の活動によりよい環境への整備に貢献できました。

環境整備活動に参加を呼び掛けるパンフレットを作成し、各支所と公民館に置いた効果で、地域住民とレイカディア大学在校生から参加者が増えることに繋がりました。

助成金が活きたと思う点

小学校の環境美化活動の休憩時に、学校からヤカンと湯呑でお茶の提供を受けていたのですが、新型コロナの影響から辞退して、助成金からペットボトルを購入して配布できました。さらに、同窓会大津支部印刷のビブスを着用して活動をしていましたが、新型コロナの影響から、使用後洗濯して次の担当者に引き継ぐことができなくなり、新規に購入して使い回しを避けられるようになりました。

京都・滋賀でのコミュニティファームの設立 美土里ファーム・コミュニティファーム実行委員会

活動場所 滋賀県高島市朽木地区平良集落
所在地 京都市中京区
連絡先 京都市中京区聚楽廻東町 9-8
T:075-204-6041、090-6915-2928



夏原グラントで実施した事業の紹介

本プロジェクトは、滋賀県高島市朽木地区平良集落の耕作放棄地を地元の農家から借り受け、農地として再生させるところから始まりました。初年度はさつまいも有機栽培を通して、植え付け・手入れ・収穫などの工程に沿って都市部からの参加者を募り、イベントやワークショップを実施する中で参加者が共同で管理する市民参加型のコミュニティファームを立ち上げました。コロナ禍で計画の変更が余儀なくされる場面もありましたが、Zoomでの中継やYouTube動画のアーカイブなどを活用し、さつまいもの生育具合と作業の進捗状況をオンラインで共有しながら進めました。最終的には、およそ200kgに及ぶさつまいもを収穫することができ、参加者や地域の住民に採れたさつまいもを配る形で活動の成果を還元することができました。

環境や地域への貢献

参加者は農村地域での直接の体験を通して、私たちが普段口にしていく農作物が作られる過程、地産地消や有機農業のメリットについて学びました。耕作放棄地を地域の資源として農地に再生させることで、地域の新たな魅力や活性化への可能性を探るきっかけになったのではないかと思います。

助成金が活きたと思う点

コロナ禍の計画が見通せない状況の中でもプロジェクトを進めることができ、また、私たちの取り組みに対する地域住民や参加者からの信頼性を高める結果となりました。

道普請ツアーと東屋づくり

活動場所 京都府宮津市小田 杉山
所在地 京都府宮津市
連絡先 宮津市小田 829、T:0772-22-4739



上宮津・杉山エコガイドの会

夏原グラントで実施した事業の紹介

杉山を通る古道・元普甲道の峠・茶屋ケ成に東屋を設置することができました。地元の財産区からいただいた檜と助成金を使って宮津高校建築科の生徒が作ってくれました。「祝完成古道歩き」も実施しました。秋には、宮津街道の道普請ツアーを実施しました。地元3高校から24名、一般公募も併せて40名ほどで宮津街道の道普請をしていただきました。街道の存在を初めて知った参加者も多く、平安からの歴史に思いをはせていただきました。また、コロナ禍で大学生が来ない分の費用で、鹿害から植生を守るために柵設置を実施しました。

環境や地域への貢献

道普請ツアーで、地域の財産である宮津街道の石畳が、歩きやすくなりました。また、金網メッシュ柵で、前には見られた山野草などが復活してくれることを願っています。

助成金が活きたと思う点

峠の東屋完成により、古道歩きをする人が、雨除けに使える場所ができました。古道の道普請を通じて、地元の高校生を始めスタッフに参加した地元の若者などが杉山の歴史や自然の魅力を感じ、今後守り維持する活動へとつがる可能性ができたことがよかったです。

希少種の保全 ヤマトサンショウウオの生息環境保全

特定非営利活動法人亀岡人と自然のネットワーク

活動場所 京都府亀岡市、南丹市
所在地 京都府亀岡市
連絡先 090-5962-4426 (担当：宇野)



夏原グラントで実施した事業の紹介

京都府亀岡市で発見された希少種ヤマトサンショウウオの生息地の一つが開発により消えてしまいました。そこで、我々は残された生息地の保全活動を行い、地元の子供たちを中心に紹介するイベントなどを開催しました。具体的には、トラップカメラを仕掛けて、捕食者となるアライグマが生息していないか、隠れ家を壊すイノシシが大きな影響を与えていないかを中心に調べました。また、ヤマトサンショウウオが一年を通してどのような生息地の利用を行っているかを月2回以上のペースで観察を行いました。結果として、卵塊から幼生、幼体、成体に至るまでのすべての成長段階に出会えたことで非常に貴重な情報が集まりました。

環境や地域への貢献

子供たちの前でヤマトサンショウウオの存在を紹介した時は、初めて聞いた生き物にとっても興味を持ってもらえました。子供に興味を持ってもらえるということは、今後の生き物を守っていく基盤作りには貢献できたと感じています。また、地元住民からの理解もいただけたので、地元の魅力を再発見していただけたと感じました。

助成金が活きたと思う点

助成金で購入したトラップカメラにより、アライグマの生息が確認できたことは非常に有効でした。また、専門家に現地を視察してもらいアドバイスをいただけたことも、今後の活動の指針となりました。

子ども自然観察会

活動場所 京都府京都市西京区御陵北大枝山町 1-100
(桂坂野鳥遊園)
所在地 京都府京都市西京区川島流田町 80-64 伊規須貞子



桂坂野鳥遊園子ども自然観察会

夏原グラントで実施した事業の紹介

京都市西京区にある京都市の施設「桂坂野鳥遊園」を中心に、毎月第4土曜日、子どもたちとその家族で、自然観察会を行いました。

子ども達にとって、五感を使って様々な自然を観察し、その感動を身につけることは、豊かな人間性を育てる上で何よりも大切なことと思われれます。季節が変わるごとに異なる生き物の姿、目に見えないような小さな昆虫から、大きな野鳥まで、それぞれに必死になって生き、子孫を残すためにたたかう姿は、子ども達に大きな驚きを与えるとともに、様々な疑問を呼び起こし、さらなる探求心を育てています。

環境や地域への貢献

子どもたちは、自分の身の回りに多様性に富んだ豊かな自然のあること、それらを大切に守っていくことが、いかに大切かを、身に沁みて感じてくれたと思います。

助成金が活きたと思う点

ホームページを開設して、毎回の活動の様子や、その時に見たいろいろな生物の写真を記録することができました。また、それらの写真を、「桂坂野鳥遊園の昆虫とクモ」という小冊子にまとめることができました。

広げよう！森林環境学習活動

活動場所 京都府京都市左京区鹿ヶ谷
所在地 京都府京都市左京区鹿ヶ谷法然院町 72-2
法然院森のセンター
連絡先 京都府京都市左京区鹿ヶ谷法然院町 72-2
法然院森のセンター、075-752-4582
moricient@deluxe.ocn.ne.jp



フィールドソサイエティー

夏原グラントで実施した事業の紹介

森林環境学習活動を通して「森に親しみ、森を知り、森を保全する」事業を実施しました。活動フィールドを整備し、並行して生きもの調べる兼ねた観察会を開催、そして、森林環境を様々な角度から理解するために、琵琶湖までのハイキング、縄文土器づくり、環境漫画展などを、身近な生きものとの繋がりを知るために、きのこ染め、ムササビ観察会などを開催しました。これらの事業は、専門家や他団体との連携を深める機会にもなりました。

環境や地域への貢献

フィールドが都市近郊林であるため、その環境保全・生物多様性保全に直接関わる活動ができました。会誌等で報告し、身近な森の重要性や課題を世代を超えて共有できました。

助成金が活きたと思う点

助成金の活用により、日頃できないフィールド整備、専門的知見に基づいた生きもの調べ、そしてユニークな催しも実現できました。特にコロナ禍での新しい生活様式を考えざるを得ないなか、野外活動を望む声や子どもたちの積極的な参加が印象的でした。多彩な森林環境学習活動事業の推進はそれらに応えることにもなり、助成金が活きたと思います。